

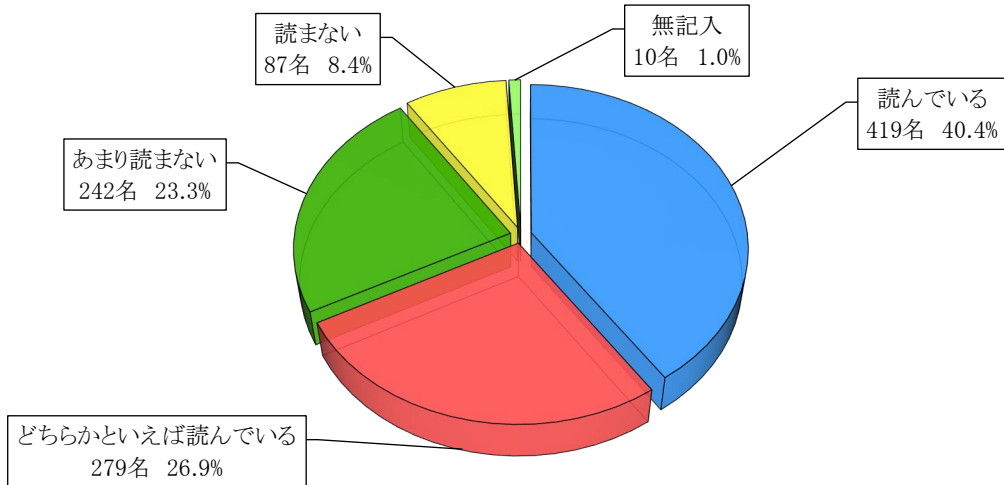
第4章 結果の概要

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 広報事業について

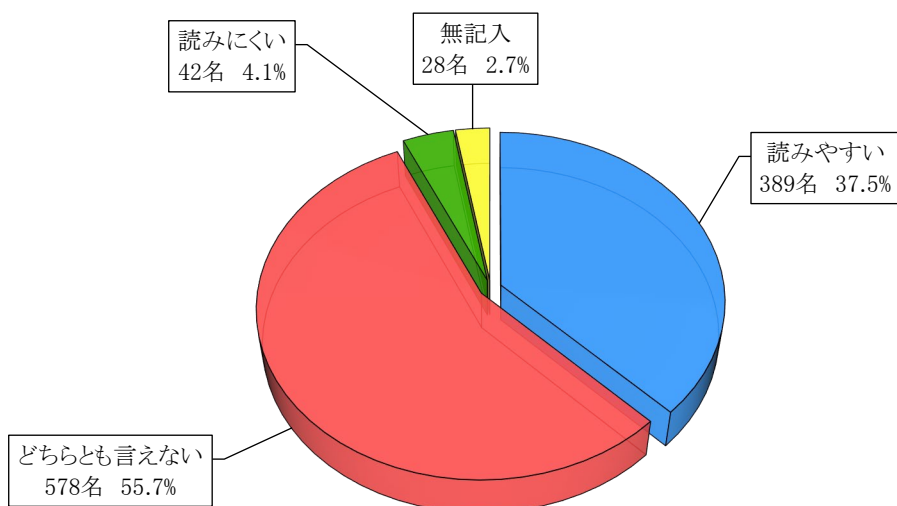
○市報いしのまきについてお聞きします。

問1 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。



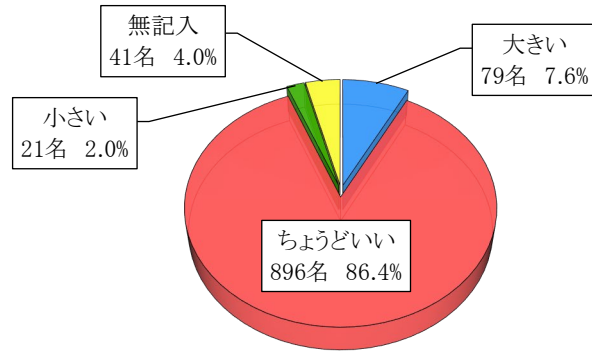
「読んでいる」「どちらかといえば読んでいる」が全体の67.3%と3分の2を超えています。が、「あまり読まない」「読まない」が全体の31.7%であった。この31.7%の中には、市ホームページやSNSで必要な情報を取得している方が一定程度含まれるものと思われていますが、今後は「紙面ならではの良さ」を生かし、より一層市政への関心が高まるような、魅力的な紙面づくりを行っていきます。

問2 「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。

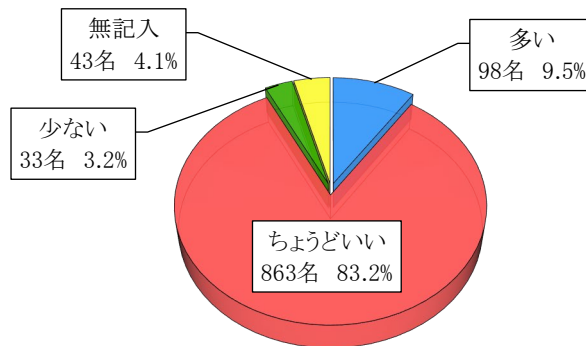


「読みやすい」が37.5%であり、「読みにくい」の4.1%を大きく上回っているものの、「どちらとも言えない」が55.7%と半数を超えていることから、より読みやすく、分かりやすい紙面づくりを行っていきます。

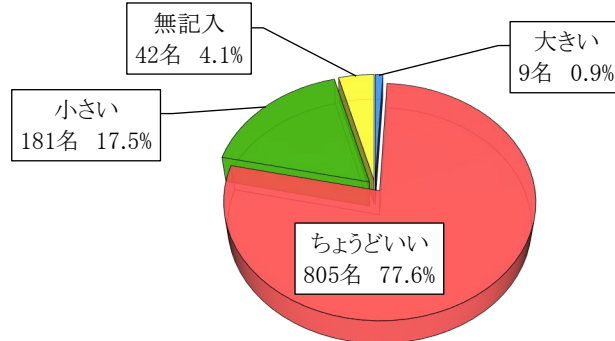
問3 「市報いしのまき」の紙面の大きさ（サイズ）について1つ選んでください。



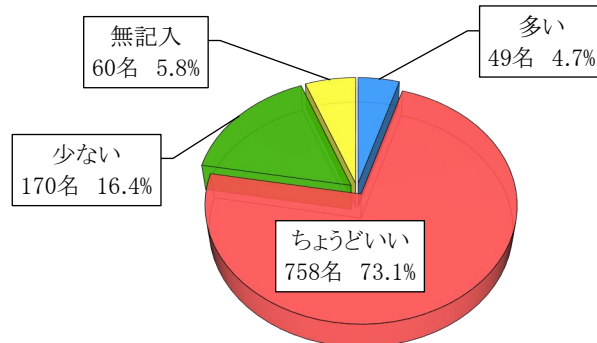
問4 「市報いしのまき」のページ数（現在は16ページ）について1つ選んでください。



問5 「市報いしのまき」の文字の大きさ（サイズ）について1つ選んでください。

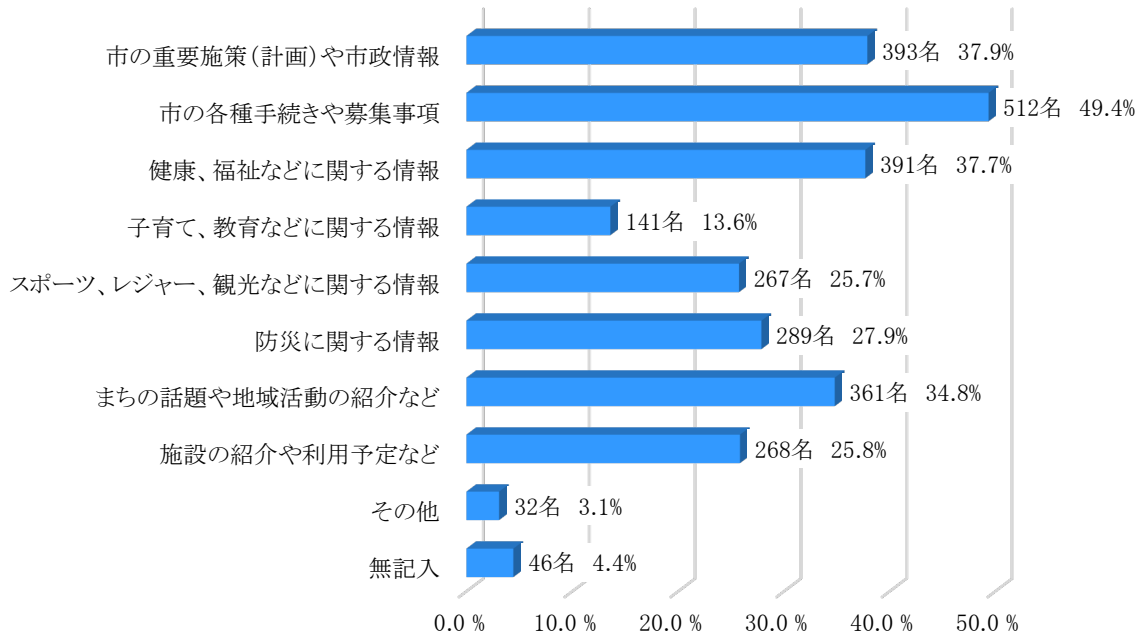


問6 「市報いしのまき」の情報量について1つ選んでください。



問3、4は85%前後、問5、6は75%前後と、いずれも「ちょうどいい」との回答が80%前後となり、概ね現行の形が良いという評価を得ました。今後も読みやすく、分かりやすい紙面づくりを研究していきます。

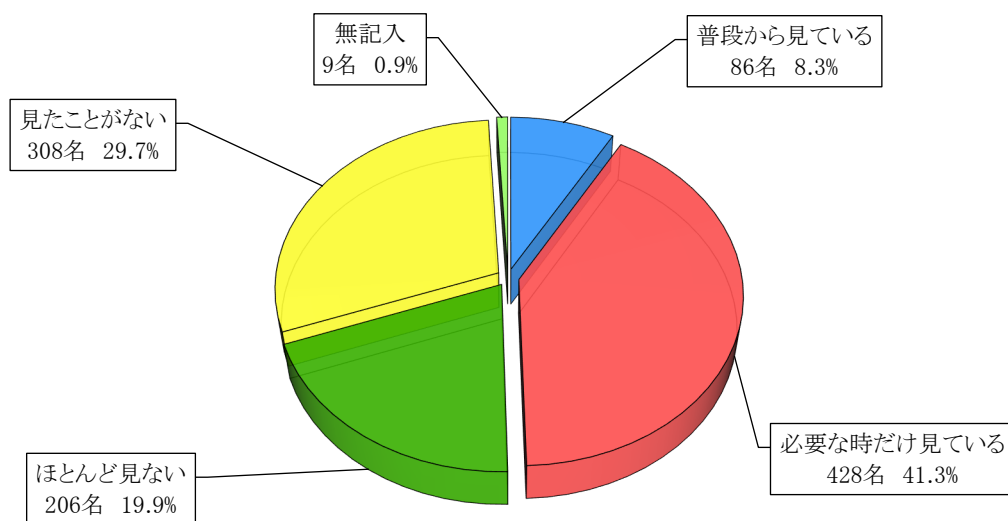
問7 「市報いしのまき」でどのような情報を扱ってほしいですか。3つまで選んでください。



多い結果から順に「市の各種手続きや募集事項（49.4%）」「市の重要施策（計画）や市政情報（37.9%）」「健康、福祉などに関する情報（37.7%）」「まちの話題や地域活動の紹介など（34.8%）」となっており、3割以上の方が希望しております。一方で「子育て、教育などに関する情報（13.6%）」は少子化の影響からか比較的低い回答となりました。今後も市民のニーズに合わせた紙面づくりを心がけ、全世代の方々に興味を持ってもらえるような紙面づくりを行っていきます。

○ホームページについてお聞きします。

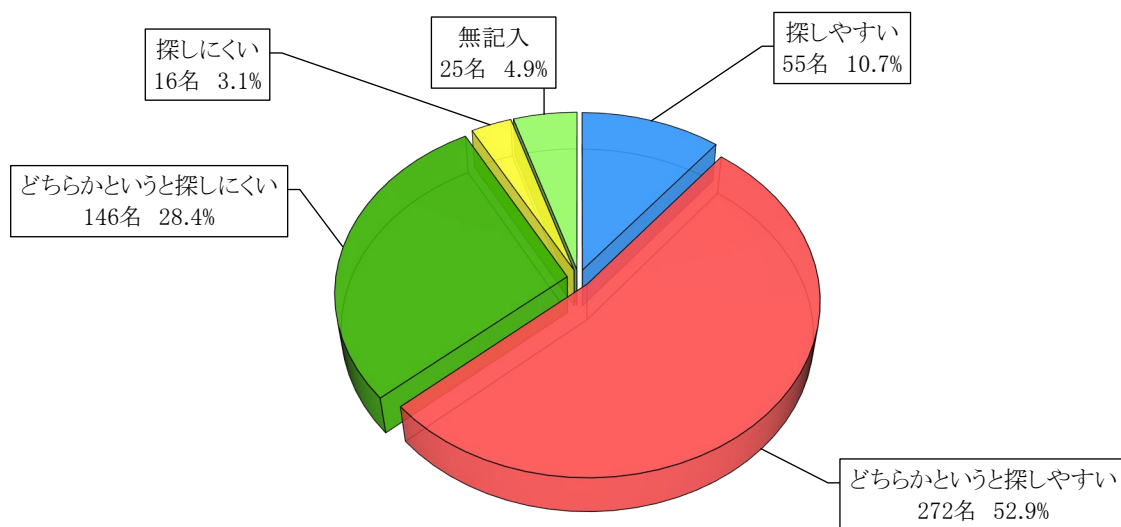
問8 「市ホームページ」をどのような時にご覧になりますか。1つ選んでください。



「普段から見ている」と「必要な時だけ見ている」を合計した割合と、「ほとんど見たことがない」と「見たことがない」を合計した結果、ほぼ同じ割合となりました。

行政のホームページは、「必要な時だけ見ている」になりがちであるが、イベントやタイムリーな情報などを随時更新していくことはもちろんのこと、閲覧者が「また見たい」と思えるような、魅力的なホームページづくりの研究をしていくとともに、さらに多くの方に市のホームページをご覧いただくために、市報やSNSなどを通じて周知してまいります。

問9 問8で「1. 普段から見ている」「2. 必要な時だけ見ている」と回答した方にお聞きします。情報は探しやすいですか。1つ選んでください。

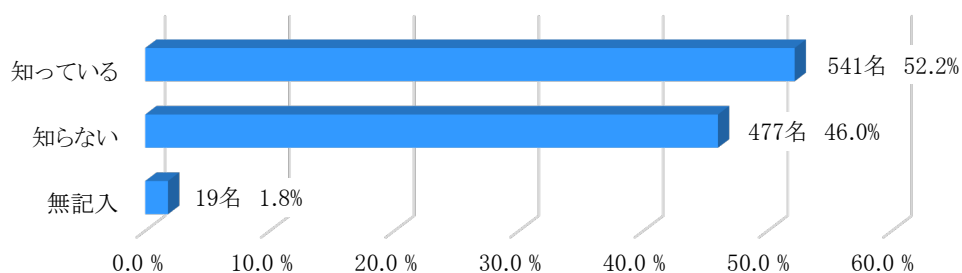


「探しやすい」、「どちらかというと探しやすい」と回答した方の割合が63.6%と比較的高い評価を得ることができました。

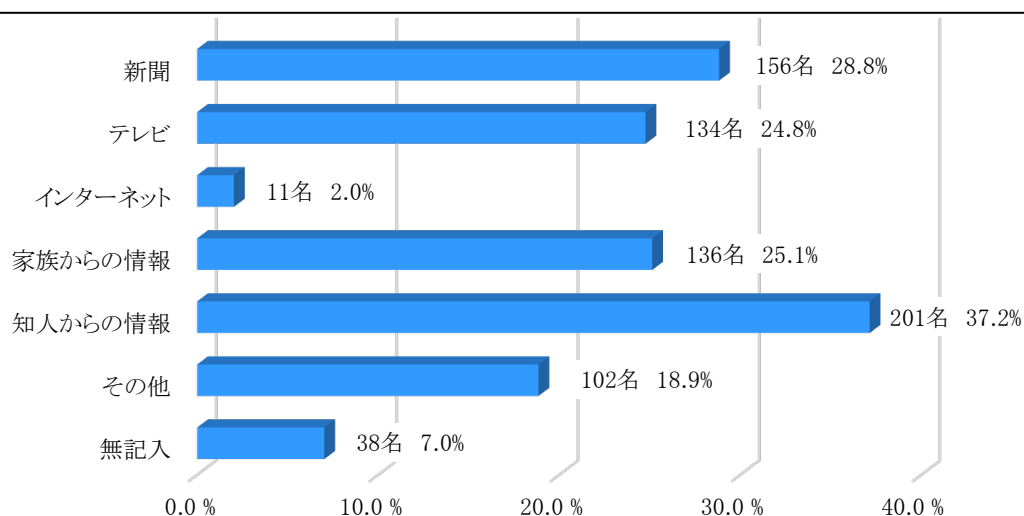
今後は、さらに高い評価を得られるよう、得たい情報を探しやすいホームページづくりの研究・工夫をしてまいります。

2 消防団について

問 10 消防団の活動内容を知っていますか。1つ選んでください。



問 11 問 10 で「1. 知っている」と回答した方にお聞きます。
消防団の活動をどのように知りましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

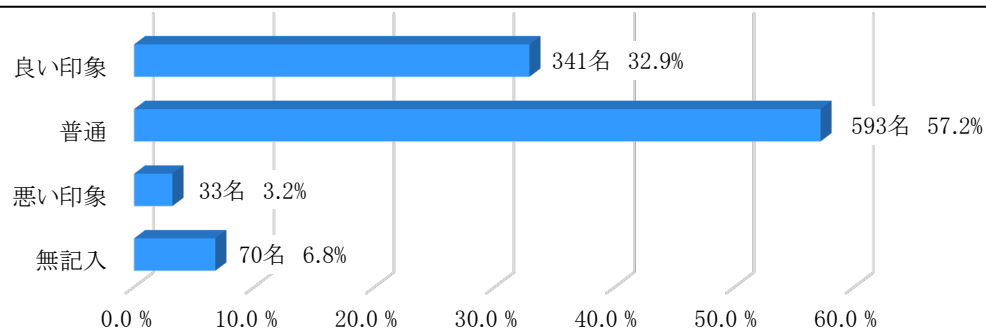


消防団員の活動内容について、知っている割合は52.2%となり、認知度は5割を超えておりますが、知らない割合は46.0%となっており、消防団に対する認知度は決して高くないことがうかがえます。

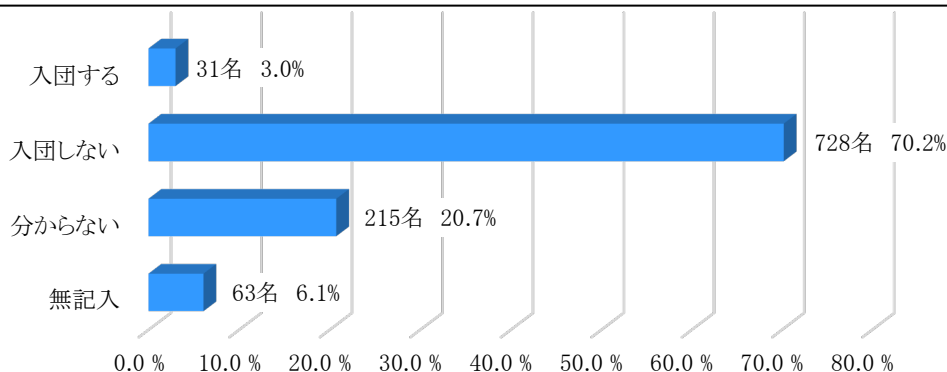
また、消防団の活動をどのように知ったかについて「知人からの情報」(37.2%)が最も多く、次いで「新聞」(28.8%)、「家族からの情報」(25.1%)、「テレビ」(24.8%)、「その他」(18.9%)、「インターネット」(2.0%)の順となっております。

認知度の向上を目指すために、効果的な広告媒体を検討し、消防団員の活動内容についての周知啓発が必要であると考えられます。

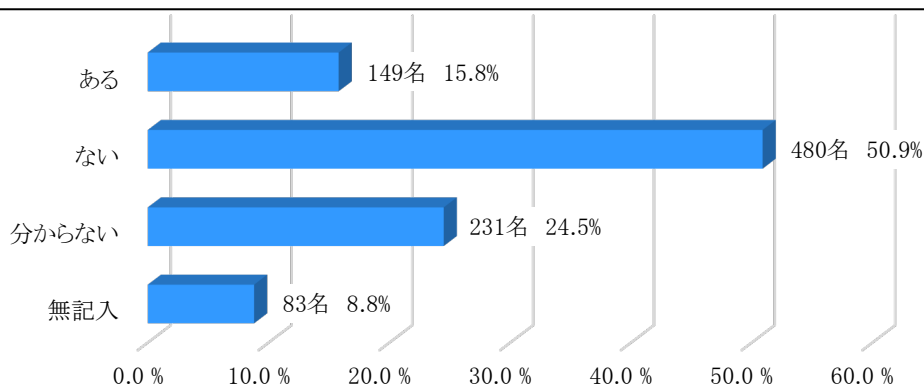
問 12 あなたにとって消防団の印象はどのようなものと感じていますか。1つ選んでください。



問 13 あなたに消防団への入団依頼があった場合、入団しますか。1つ選んでください。



問 14 問 13 で「2. 入団しない」、「3. 分からない」と回答した方にお聞きします。あなたが消防団に入団してもよいと考えを変える条件はありますか。1つ選んでください。



多くの自由記載回答をいただきましたが、代表的な回答は以下のとおりです。

- ・自分のためになるかどうか。例えばお金がもらえる。良い経験になるなど。
- ・活動の内容で、自分に役に立てる仕事があるならお手伝いしたいと思う。
- ・若ければ人の為に出来る仕事なので入団しても良いと思いました。
- ・年齢的、身体的に無理。
- ・体が悪く激しい運動や重労働ができないため、入団できないと考えます。
- ・体が動かない。
- ・そもそもどれくらいの期間、どれくらいの頻度で活動しているのか不明。
活動したら報酬があるのか？もしくは減税してもらえるとか。メリットがないと難しいと思う。
- ・高齢で無理です。

消防団への印象について、良い印象が 32.9%、普通が 57.2%となっており、消防団への印象は悪くないことがうかがえます。

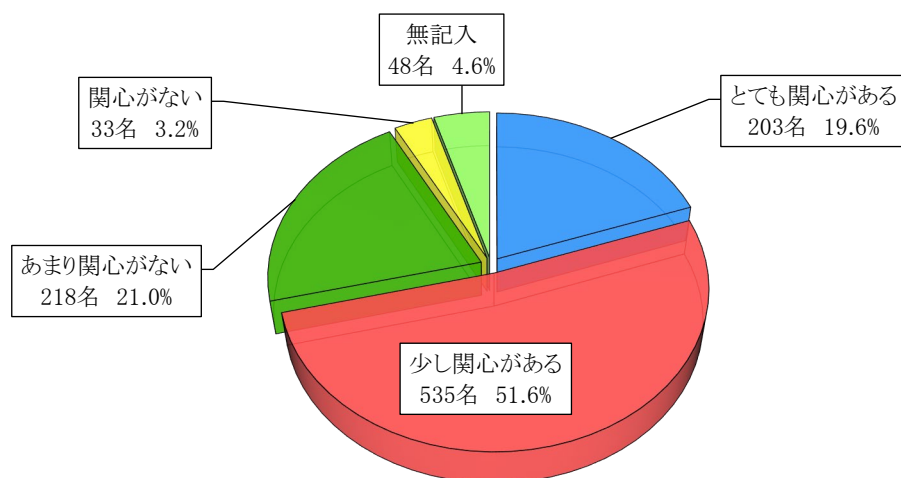
しかしながら、「消防団への入団依頼があった場合、入団するか」との問いには 70.2%が入団しないと回答しており、「消防団に入団してもよいと考えを変える条件はあるか」との問いに対しても「ない」の回答が 5 割を超えていることから、消防団には入団したくない人が多いことが分かります。

したがって、まずは住民が消防団へ興味・関心を持ち、入団意欲を持っていただけるような広報活動等を行う必要があります。

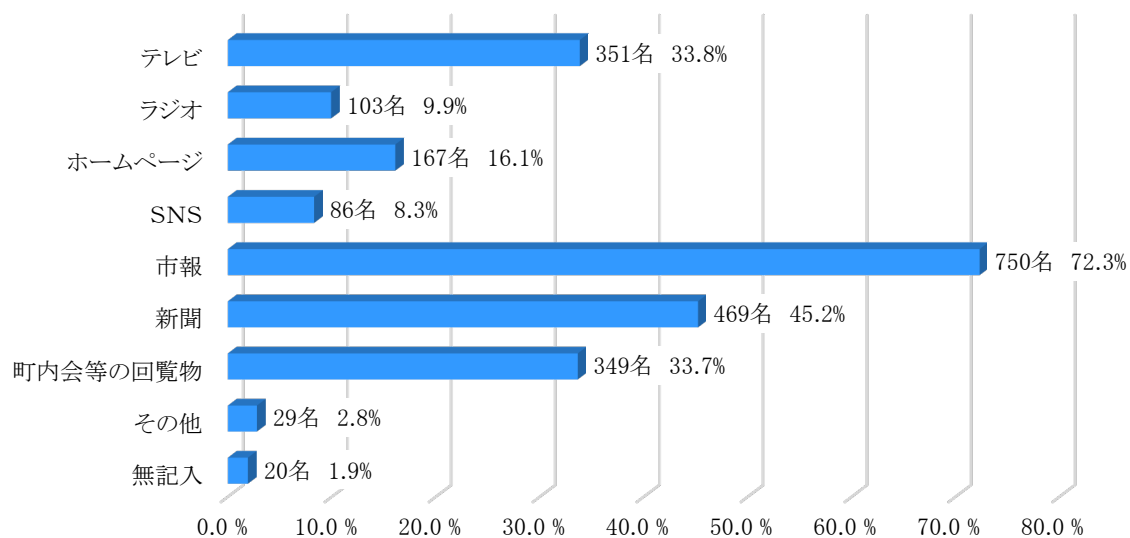
また、自由記載回答において、中年層～高年層の年代の方からは消防団に入団しない理由として「年齢的・体力的に難しい」との回答が多かったことから、消防団員になるには体力が必要というイメージがあることを読み取ることができます。

3 本市の市政への関心度について

問 15 石巻市が行うことへの関心について1つ選んでください。



問 16 市政に関する情報の入手先は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。



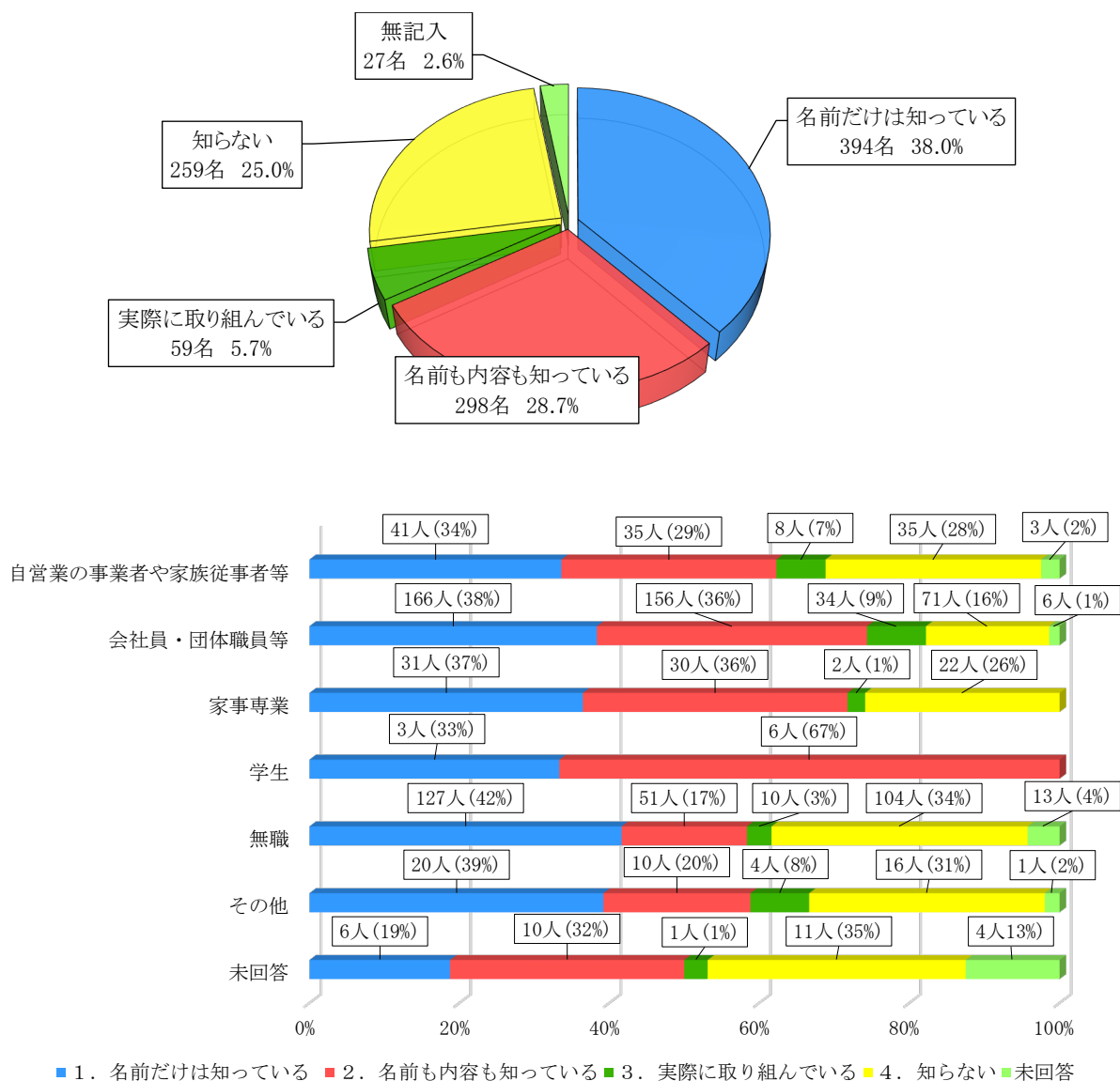
市政への関心について、「とても関心がある」「少し関心がある」と回答した方が71.2%を占めており、昨年に比べて0.8ポイント増加しました。そのうち、「少し関心がある」と回答した方は、4.4ポイント増加していますが、「とても関心がある」は3.6ポイント減少したほか、「あまり関心がない」は0.6ポイント増加しています。

市政に関する情報の入手先としては、「市報」が最も多く、次いで「新聞」が多かったほか、特に若い世代では「テレビ」と回答した方が多い結果となりました。

今後も市政への関心を高めるため、市民ニーズの把握と市政への反映に努め、市民が必要とする情報を積極的に発信していく必要があります。

4 SDGs（持続可能な開発目標）について

問 17 市は、SDGs(持続可能な開発目標)を推進しており、令和2年7月に国から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの達成に向けた取組や普及啓発を進めています。
「SDGs」という言葉を知っていますか。1つ選んでください。



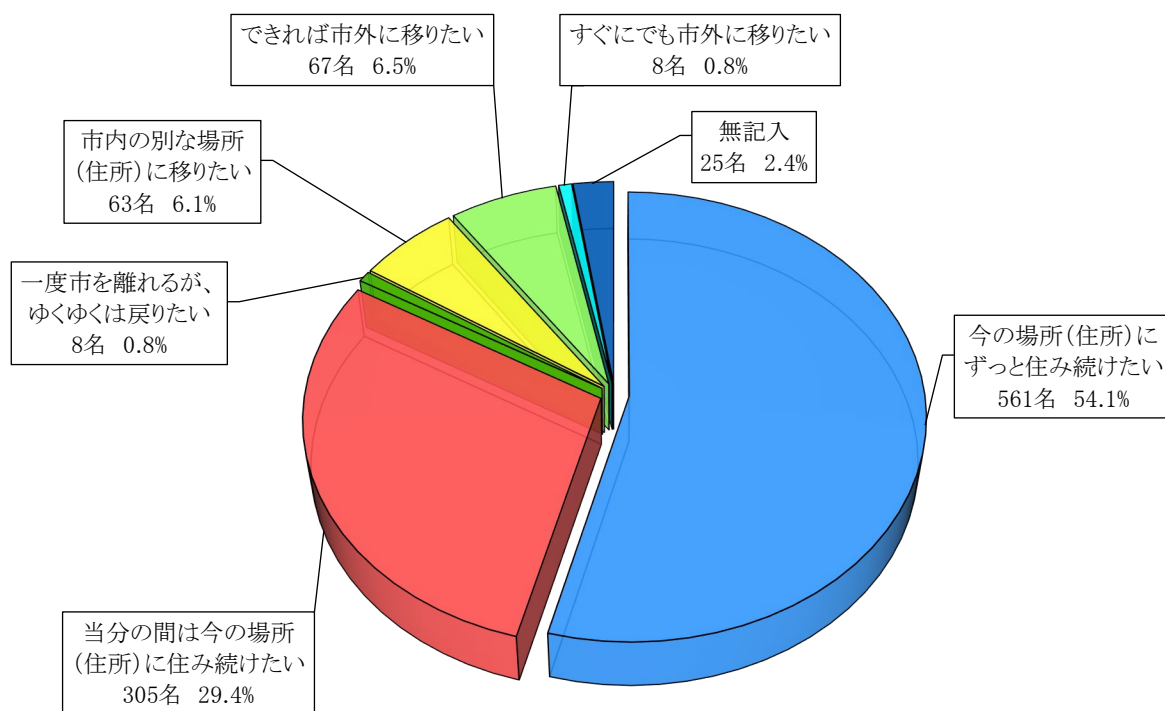
SDGsという言葉を「名前だけは知っている」が38.0%（前年比5.4ポイント増）、「名前も内容も知っている」が28.7%（前年比6.1ポイント増）、「実際に取り組んでいる」が5.7%（前年比1.5ポイント増）となっており、3項目の合計は72.4%（前年比13ポイント増）となり、全体の7割以上が認知している結果となりました。

職業別の回答割合では、3項目（「名前だけは知っている」、「名前も内容も知っている」、「実際に取り組んでいる」）の合計について「学生」が100%（前年比13.3ポイント増）と極めて高く、「自営業」、「会社員等」、「家事専業」はいずれも70%台となり、前年と比較してはいずれも10ポイント以上の増加となりました。

しかし、「実際に取り組んでいる」については、各職業別を見ても相対的に少ないことから、今後のSDGsの普及啓発を通して、SDGsをより身近なものとして捉え、日常生活でできることから積極的に市民に取り組んでもらう必要があると考えられます。

5 石巻市での居住について

問 18 あなたは今後も石巻市に住み続けたいと思いますか。1つ選んでください。

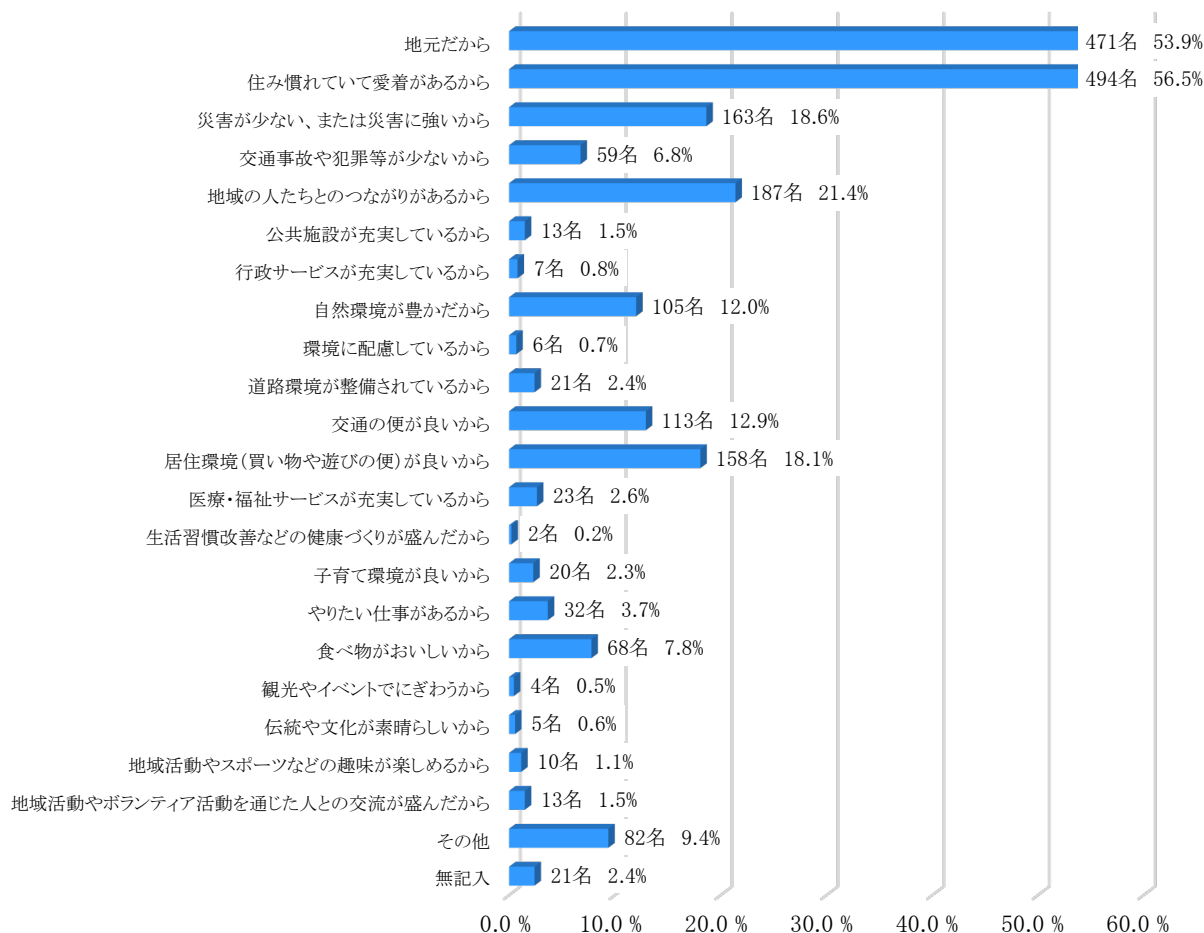


石巻市での居住継続意向については、「今の場所（住所）にずっと住み続けたい」が54.1%となり、前回調査より0.6ポイントの微増となりました。

また、市内での居住を希望する4つの選択肢（「今の場所（住所）にずっと住み続けたい」、「当分の間は今の場所（住所）に住み続けたい」、「一度市を離れるが、ゆくゆくは戻りたい」、「市内の別な場所（住所）に移りたい」）の合計は90.4%となっており、前回調査より1.4ポイントの増加となっています。

今後も住み続けたいと思われるまちづくりを目指すため、石巻の魅力を最大限に生かせる取組をしながら、地域の発展と地域住民の生活の満足度向上に努めていくことが必要であると考えられます。

問 19 問 18 で「1. 今の場所(住所)にずっと住み続けたい」「2. 当分の間は今の場所(住所)に住み続けたい」「3. 一度市を離れるが、ゆくゆくは戻りたい」と回答した方にお聞きします。今の場所(住所)に住みたい・住み続けたい理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

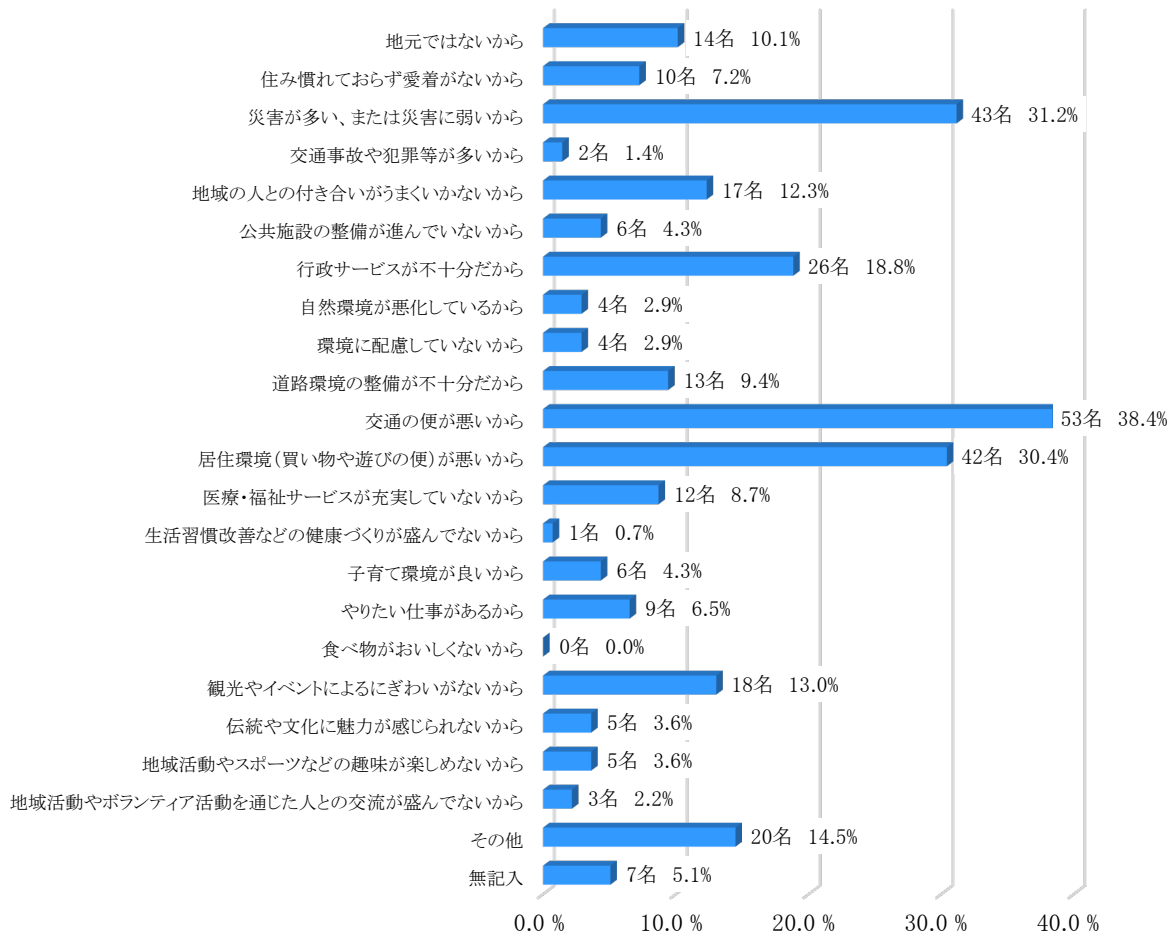


石巻市に住み続けたい理由としては、「住み慣れていて愛着があるから」が56.5%と最も高くなり、次いで「地元だから」が53.9%となりました。

そのほか、回答割合が高かった項目としては、「地域の人たちとのつながりがあるから」、「災害が少ない、または災害に強いから」、「居住環境(買い物や遊びの便)が良いから」、「交通の便が良いから」、「自然環境が豊かだから」が10%を超えています。

低かった項目としては、「生活習慣改善などの健康づくりが盛んだから」、「観光やイベントでにぎわうから」、「伝統や文化が素晴らしいから」、「環境に配慮しているから」、「行政サービスが充実しているから」がいずれも1%未満となりました。

問 20 問 18 で「4. 市内の別な場所(住所)に移りたい」「5. できれば市外に移りたい」「6. すぐにでも市外に移りたい」と回答した方にお聞きます。市内の別な場所(住所)または市外に移り住みたい理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。



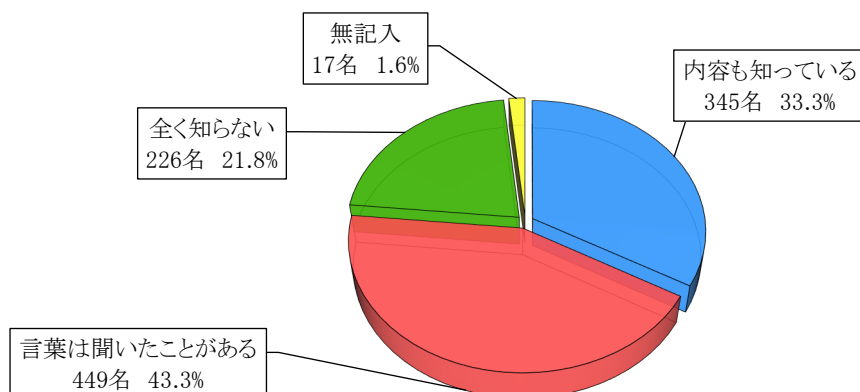
市外に移り住みたい理由としては、「交通の便が悪いから」が 38.4%と最も高くなり、次いで「災害が多い、または災害に弱いから」が 31.2%となりました。

そのほか、回答割合が高かった項目としては、「居住環境(買い物や遊びの便)が悪いから」、「行政サービスが不十分だから」、「観光やイベントによるにぎわいがないから」、「地域の人との付き合いがうまくいかないから」、「地元ではないから」が 10%を超えています。

市外に移り住みたい理由として回答割合が高かった項目については、関係各課と情報共有の上、改善を図りながら、住民のニーズを反映した住み続けたいと思える魅力的なまちづくりの推進を検討していく必要があると考えられます。

6 男女共同参画について

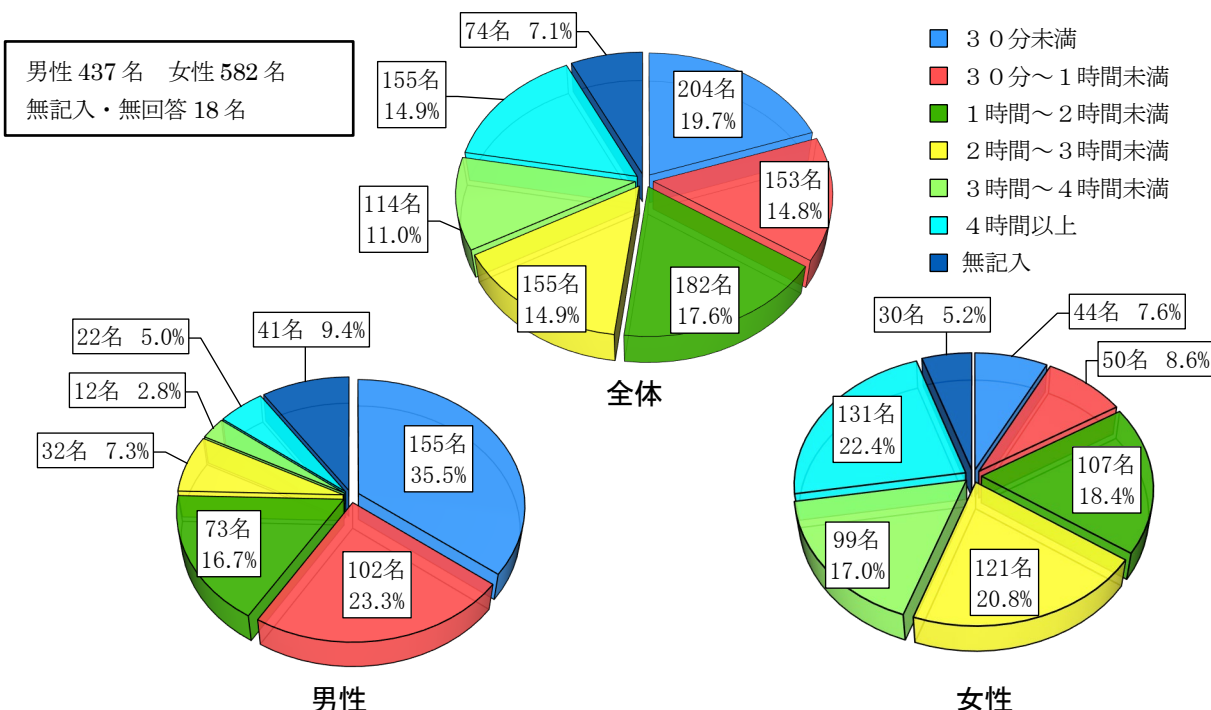
問 21 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。1つ選んでください。



「男女共同参画社会」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがある」との回答が43.3%と最も多く、「内容も知っている」と合わせた認知度は76.6%となっています。

しかし、「全く知らない」と回答した方も21.8%となっていることから、今後もホームページを活用した情報提供や、イベント等での広報を実施し、認知度の向上を図る必要があると考えます。

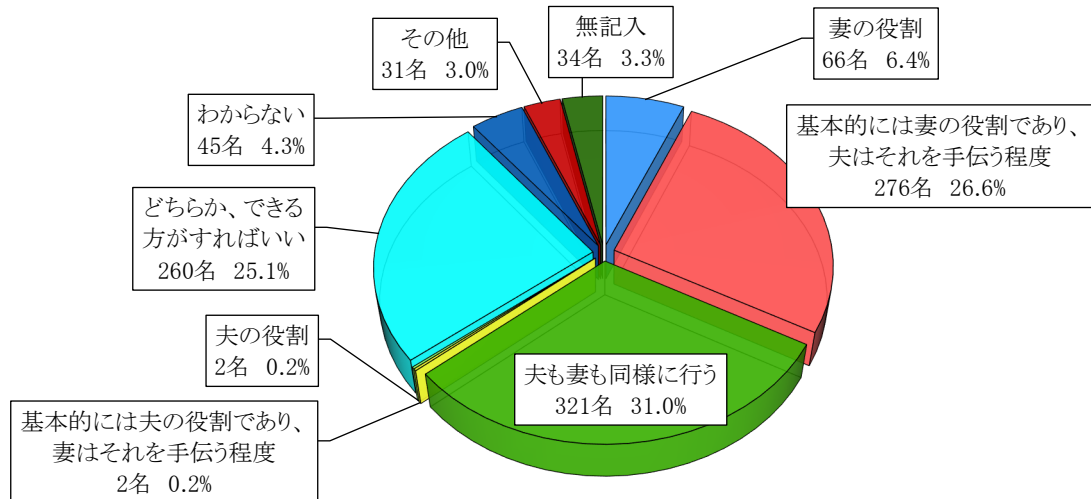
問 22 あなたの1日の家事(介護・看護・育児含む)時間はどのくらいですか。1つ選んでください。



1日の家事時間について、「30分未満」との回答は男性が35.5%に対し、女性は7.6%となっています。また、「3時間以上」との回答は、男性が7.8%に対し、女性は39.4%となっており、男性と女性で1日の家事時間には大きな差があることがうかがえます。

このことから、家事は女性の役割だという考えが根強くあり、結果として家事時間の偏りに現れているのではないかと考えます。

問 23 家庭での育児や家事は、誰の役割だと思いますか。1つ選んでください。

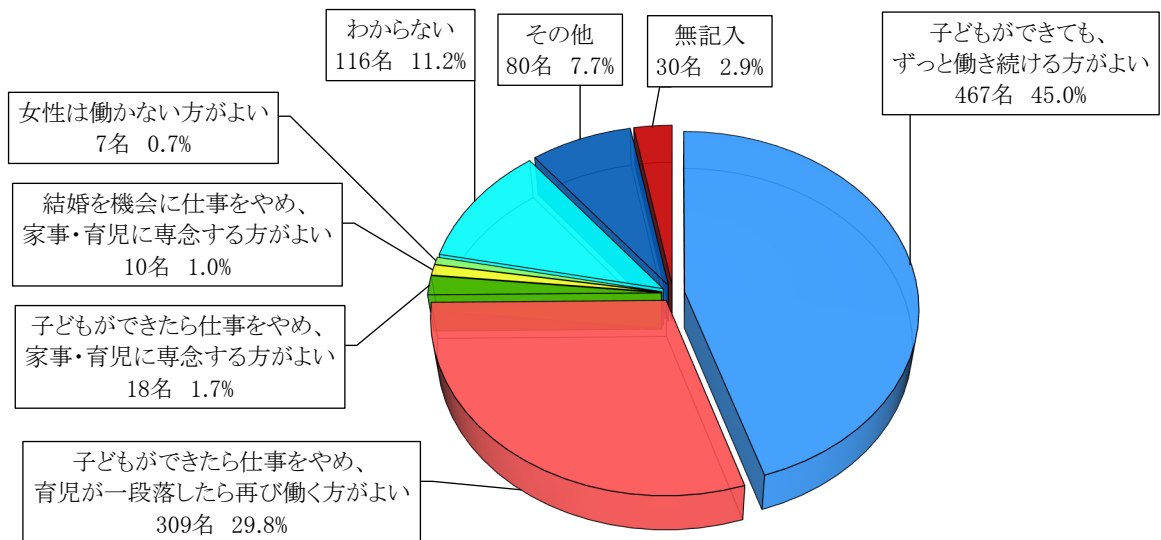


家庭での育児や家事は「夫も妻も同様にを行う」が31.0%、「どちらか、できる方がすればいい」が25.1%と、性別に関係なく家事を行うと考える方が半数以上を占めています。

一方で、家庭での育児や家事は「基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」という回答が26.6%となっていることから、固定的役割分担意識（男性・女性という性別を理由に役割を固定的に分けること。）にとらわれず役割を決めることの意識を醸成する必要があると考えます。

問 24 平成27年度には「女性活躍推進法」が施行され、石巻市でも女性活躍のための環境整備に向けて取組を実施しています。

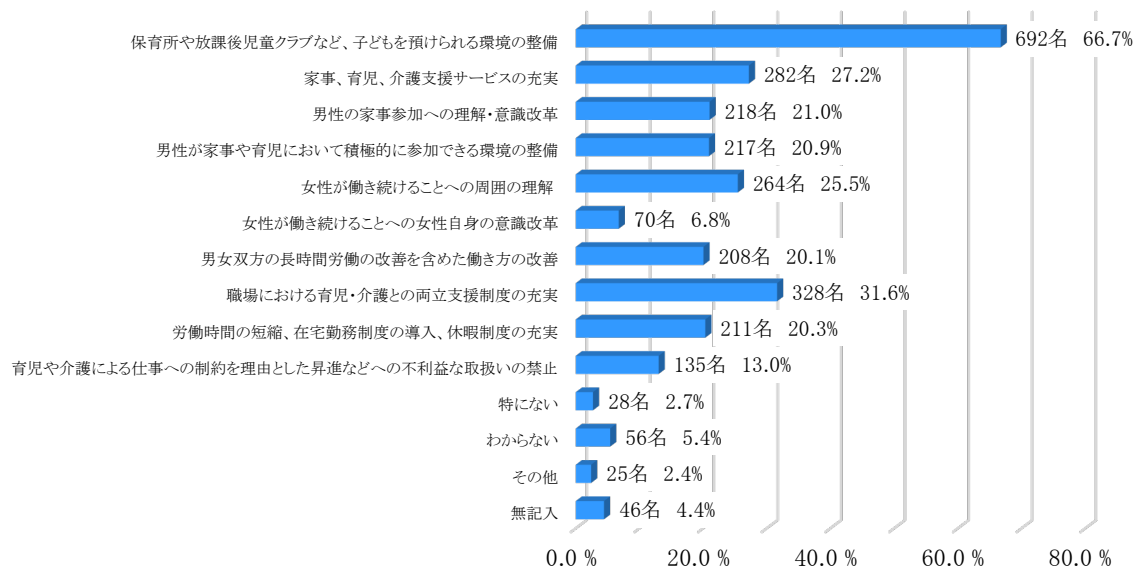
女性が働くことについて、あなたはどのように考えますか。1つ選んでください。



女性が働くことについては、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」との回答が45.0%と最も多く、「女性は結婚や出産を機に家事育児に専念すべき」という意見や、「女性は働かないほうがよい」という意見は3.4%となっていることから、女性の就業については多数の方が賛成していることがうかがえます。

今後も、女性が活躍できる社会の推進を図るとともに、女性がライフプランを自ら選択できる環境整備を行う必要があると考えます。

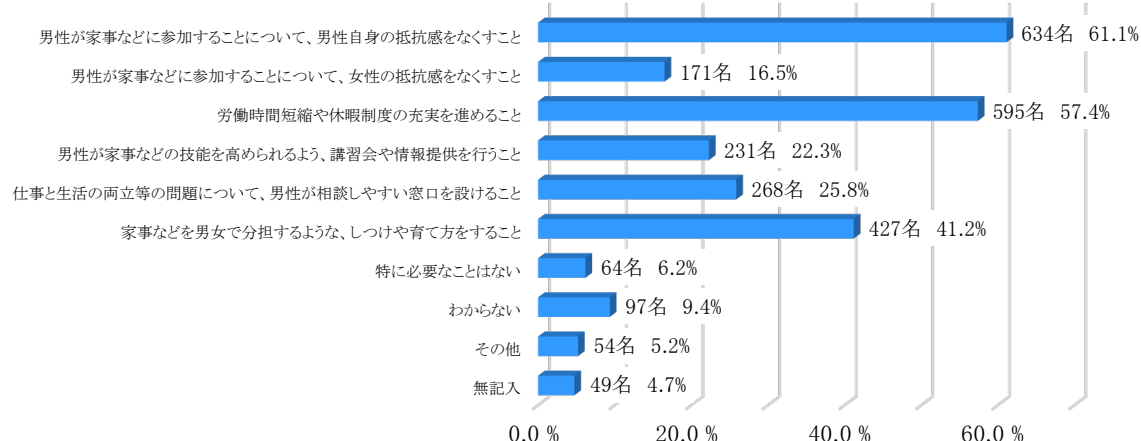
問 25 あなたは、女性が出産後も離職せずに職場で活躍するためには、家庭・社会・職場などからどのような支援が必要と考えますか。3つ選んでください



「保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」との回答が66.7%、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が31.6%、「家事、育児、介護支援サービスの充実」が27.2%と、女性が活動に費やせる時間を確保するための支援に加え、「女性が働き続けることへの周囲への理解」が25.5%と、心理面での支援についても必要であることが分かります。

このことから、女性が産後も離職せずに職場で活躍するためには、職場環境の整備をはじめ、男性が家事に参加することへの理解や意識改革など多方面からの支援が必要であると考えます。

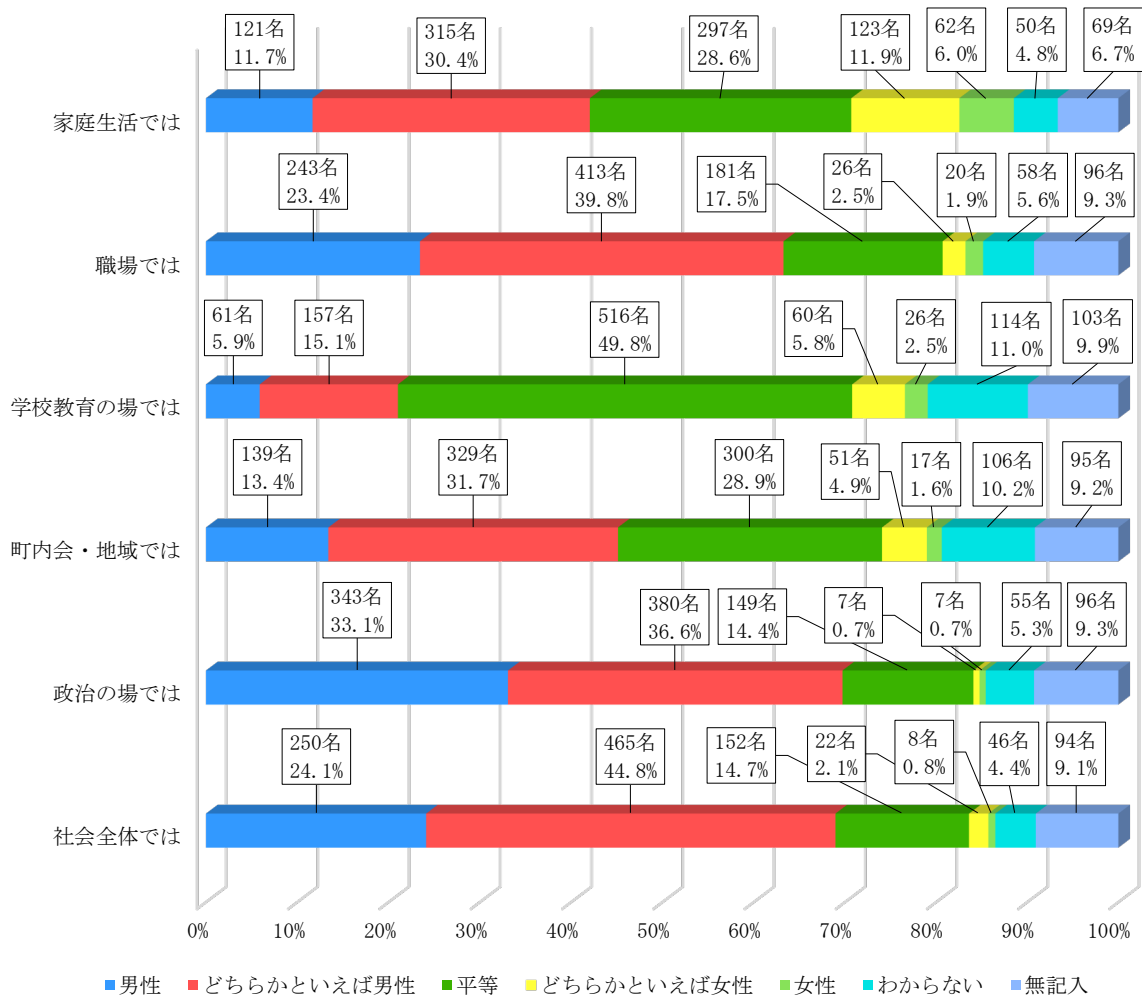
問 26 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。3つ選んでください。



男性が家事・育児などに積極的に参画していくためには、「男性自身の抵抗感をなくすこと」との回答が61.1%と最も多くなっています。また、「労働時間短縮や休暇制度の充実を進めること」という回答も57.4%と多く、男性が家事等に参画しやすい環境の整備が求められていることがうかがえます。

このことから、今後も研修等を通して、男性の意識改革や育児休暇の取得推進、ワークライフバランスの推進のための職場環境整備を進める必要があると考えます。

問 27 あなたは、男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。各項目につき1つ選んでください。

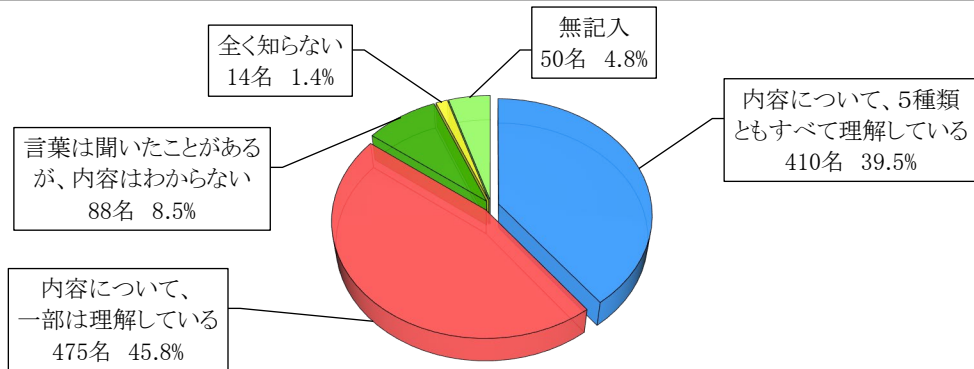


男女の地位については、学校教育の場では「平等」という回答が49.8%と多くみられましたが、その他の場では「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」という回答が多く、社会全体としても同様の回答が68.9%となっており、依然として男性優位の社会であるとの認識が根強いことがうかがえます。

このことから、今後更に男女平等に関する意識の醸成を図り、男女がお互いに尊重し合いながら、共に社会のあらゆる活動に参画していける地域社会の実現に取り組んでいく必要があると考えます。

問 28 あなたは、DV（配偶者等からの暴力）の内容について正しく理解していますか。1つ選んでください。

《DVの種類・身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力、経済的暴力》

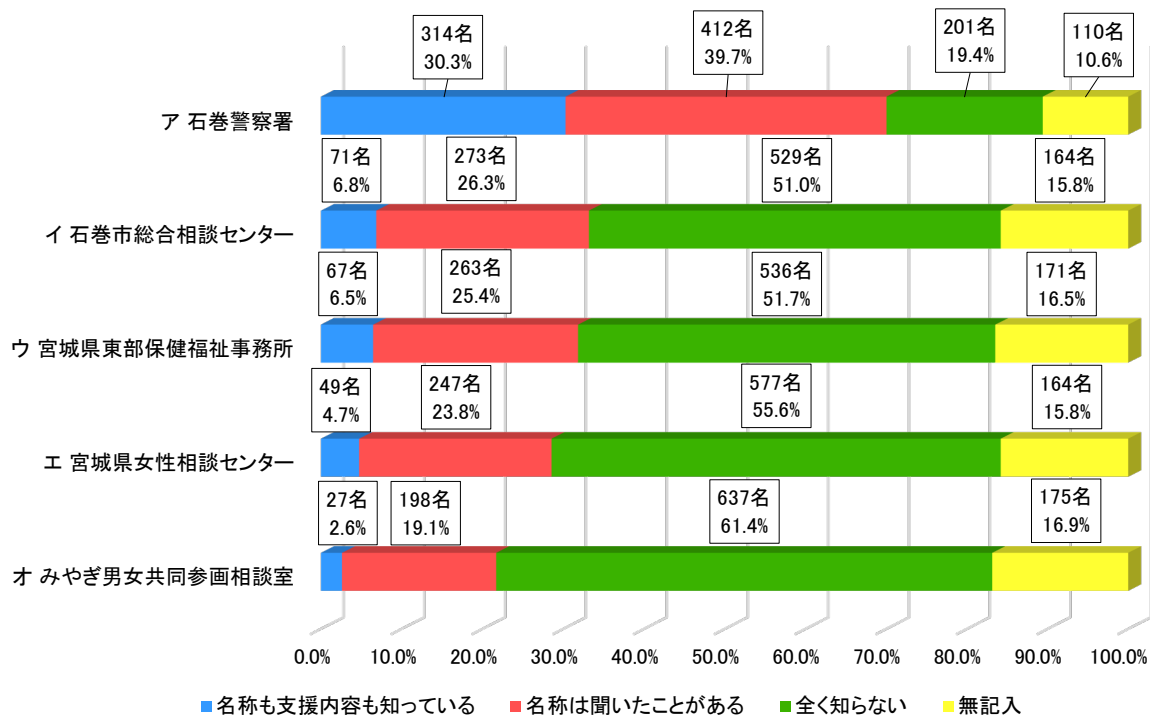


DVの内容について正しく理解しているかどうかについては、「5種類ともすべて理解している」が39.5%、「一部は理解している」が45.8%となっています。

言葉自体の認知度は93.8%と高くなっていますが、すべてのDVについて正しく理解してもらうために、より一層の啓発に努める必要があると考えます。

問 29 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～オ）を知っていますか。各項目につき1つ選んでください。

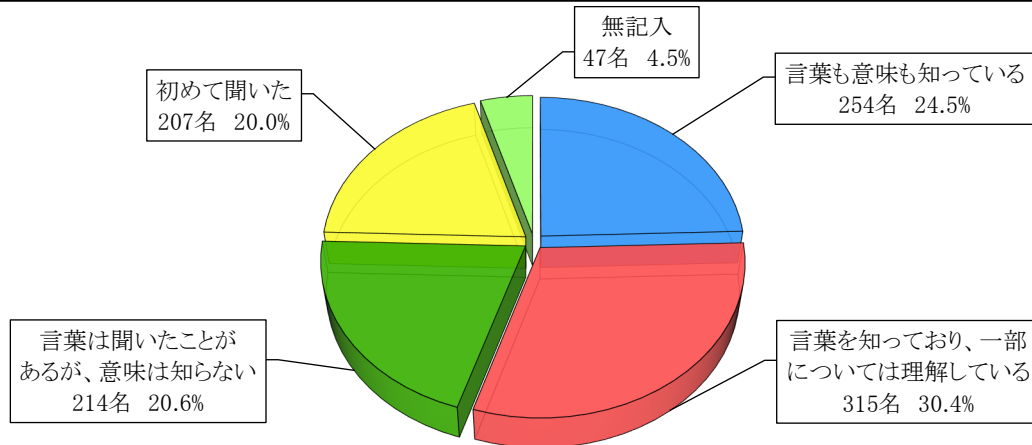
また、ア～オ以外の相談窓口を知っている方は、その他の欄にご記入ください。



セクシャル・ハラスメントまたはDVの各種相談窓口について、「名称も支援内容も知っている」との回答が最も多いところでも、その割合は3割にとどまっており、セクシャル・ハラスメントやDV被害にあった際の相談窓口の認知度はかなり低いことがうかがえます。

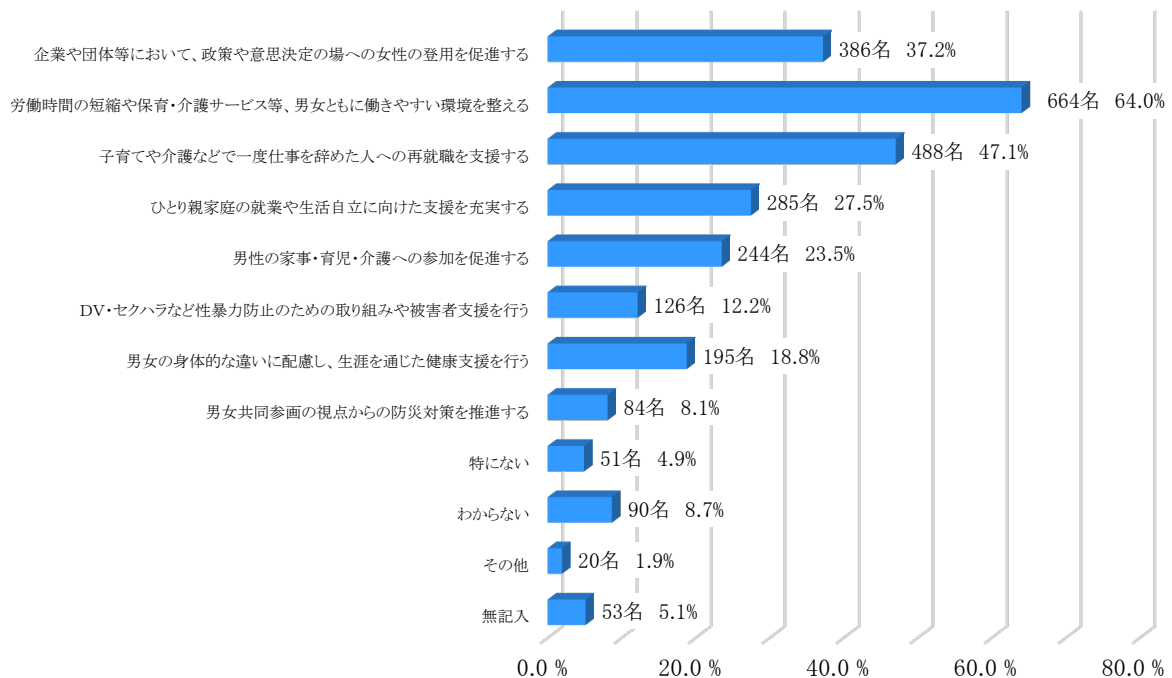
このことから、相談窓口や支援内容の周知について、関係団体と連携しながら更に力を入れていく必要があると考えます。

問 30 「性的マイノリティ」、「LGBT」という言葉を知っていますか。1つ選んでください。



性的マイノリティ、LGBTの言葉自体の認知度については75.5%となっていますが、「言葉も意味も知っている」と回答した割合を見ると24.5%にとどまっていることから、言葉だけでなく、内容についても理解を深めてもらうために、研修の実施など、更なる周知を進める必要があると考えます。

問 31 男女共同参画社会を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。3つ選んでください。

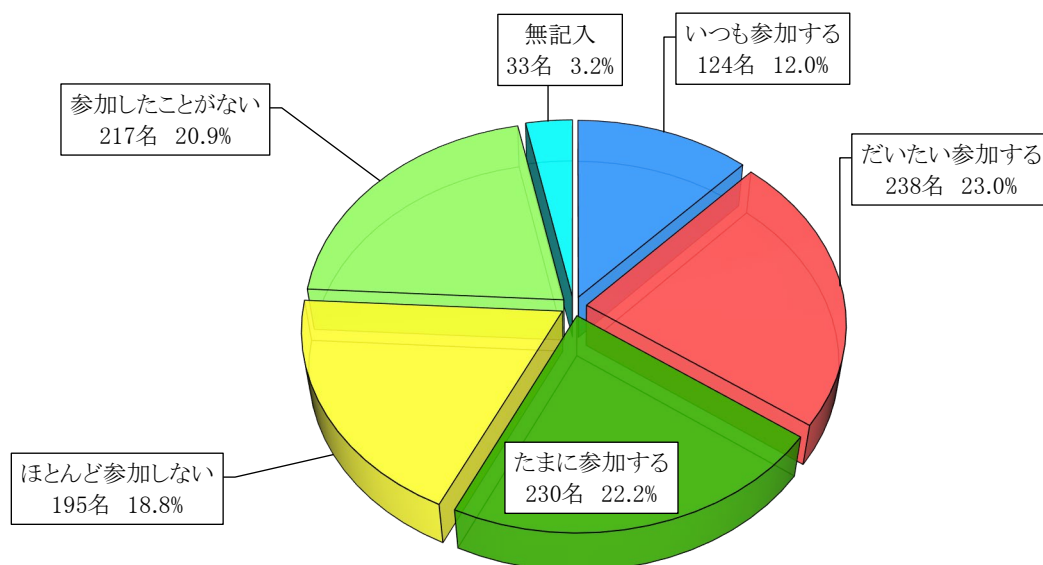


男女共同参画社会を実現するために市が特に力を入れていくべきこととして、「労働時間の短縮や保育・介護サービス等、男女ともに働きやすい環境を整える」との回答が64.0%と高くなっており、男女ともに家事や育児などをしながらでも十分に働くことができる環境が必要とされていることがうかがえます。

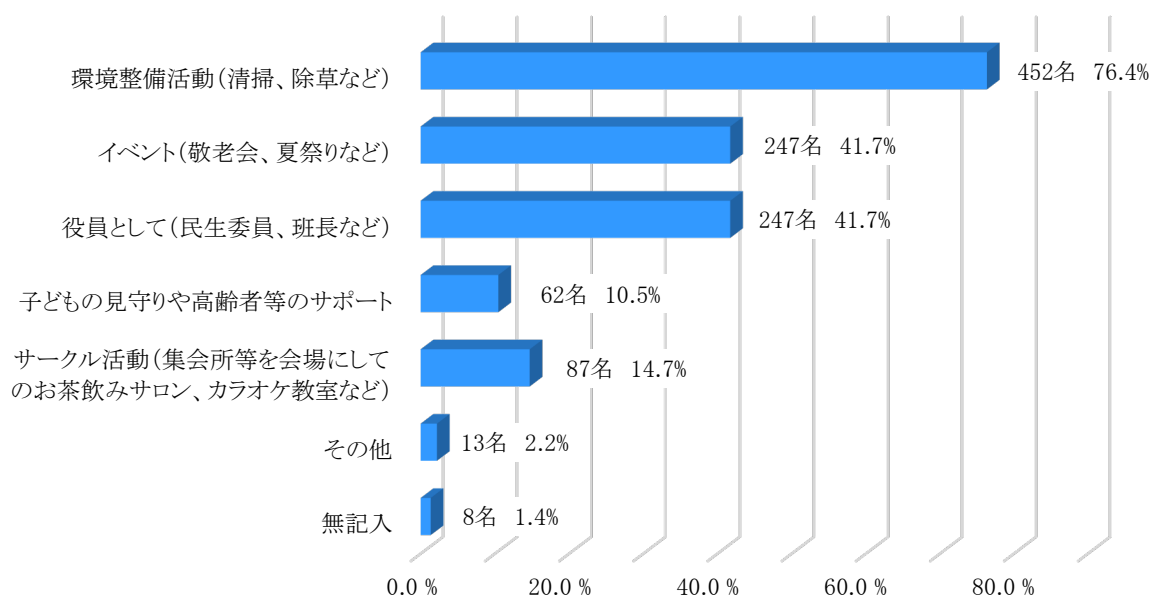
また、「子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する」との回答が47.1%、「企業や団体等において、政策や意思決定の場への女性の登用を促進する」との回答が37.2%となっており、今後更に女性の再就職に対する支援や、登用促進の呼びかけを行う必要があると考えます。

7 町内会・自治会活動への参加について

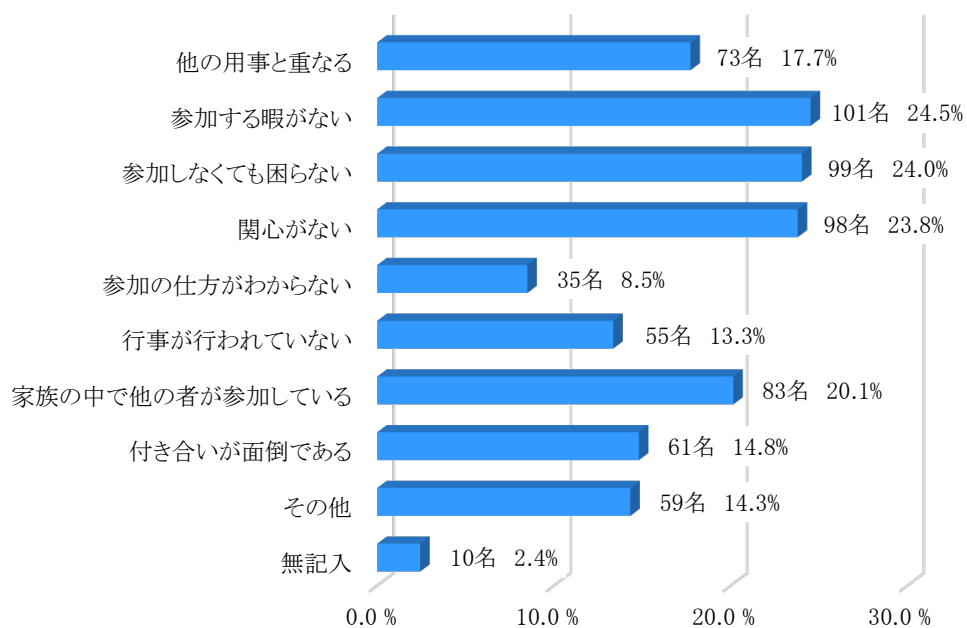
問 32 地域の町内会・自治会活動（行事）が行われる際に参加していますか。1つ選んでください。
 ※コロナ禍の影響前（自治会が通常に活動している状況）の頃でお考えください。



問 33 問 32 で「1. いつも参加する」「2. だいたい参加する」「3. たまに参加する」と回答した方にお聞きします。地域の活動（行事）にどのように関わっていますか。当てはまるものをすべて選んでください。



問 34 問 32 で「4. ほとんど参加しない」「5. 参加したことがない」と回答した方にお聞きします。その理由として当てはまるものをすべて選んでください。



地域の町内会・自治会活動については「参加したことがない」、「無記入」を除いた 75.9% 以上が何かしらの活動に参加していると回答しており、高い数値となっています。

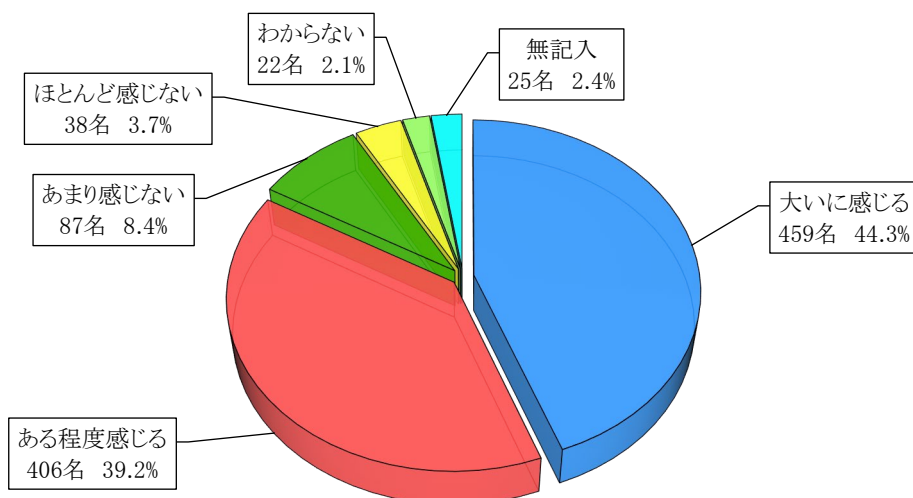
「いつも参加する」、「だいたい参加する」、「たまに参加する」と回答した方のうち、76.4%が「清掃や除草などの環境整備活動」で地域の町内会・自治会活動に関わっており、続いて41.7%が「敬老会や夏祭りなどのイベント」、「民生委員や班長などの役員活動」で地域の町内会・自治会活動に関わっています。

また、地域の町内会・自治会活動について「ほとんど参加しない」、「参加したことがない」と回答した方のうち、「参加する暇がない」という回答が24.5%と最も多く、続いて「参加しなくても困らない」が24.0%となっています。

住民に地域の町内会・自治会活動へ更に参加をしてもらえるよう、町内会・自治会活動内容の周知や必要性について理解を促していく必要があると考えられます。

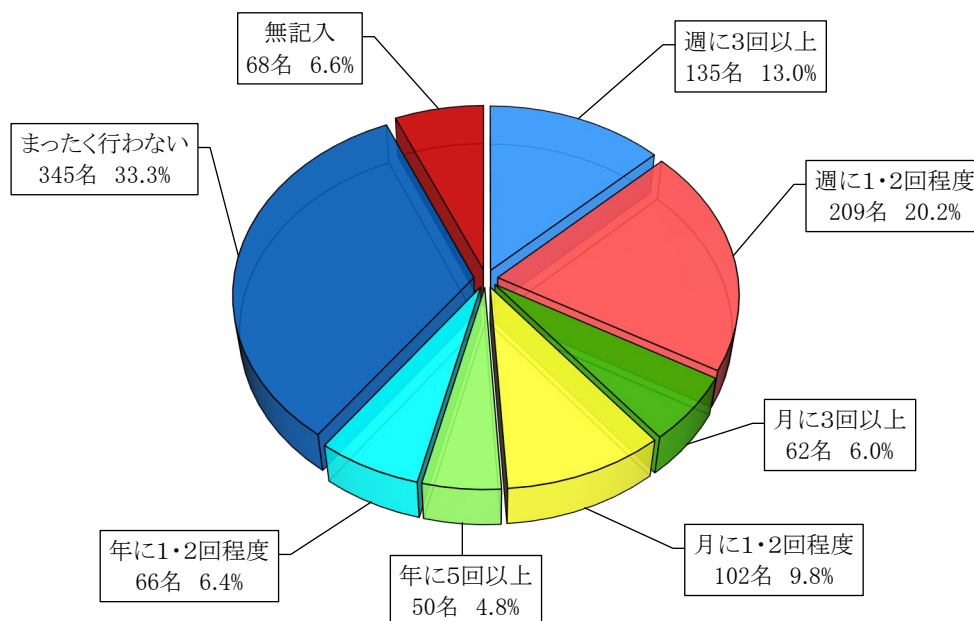
8 スポーツについて

問 35 運動不足を感じますか。1つ選んでください。



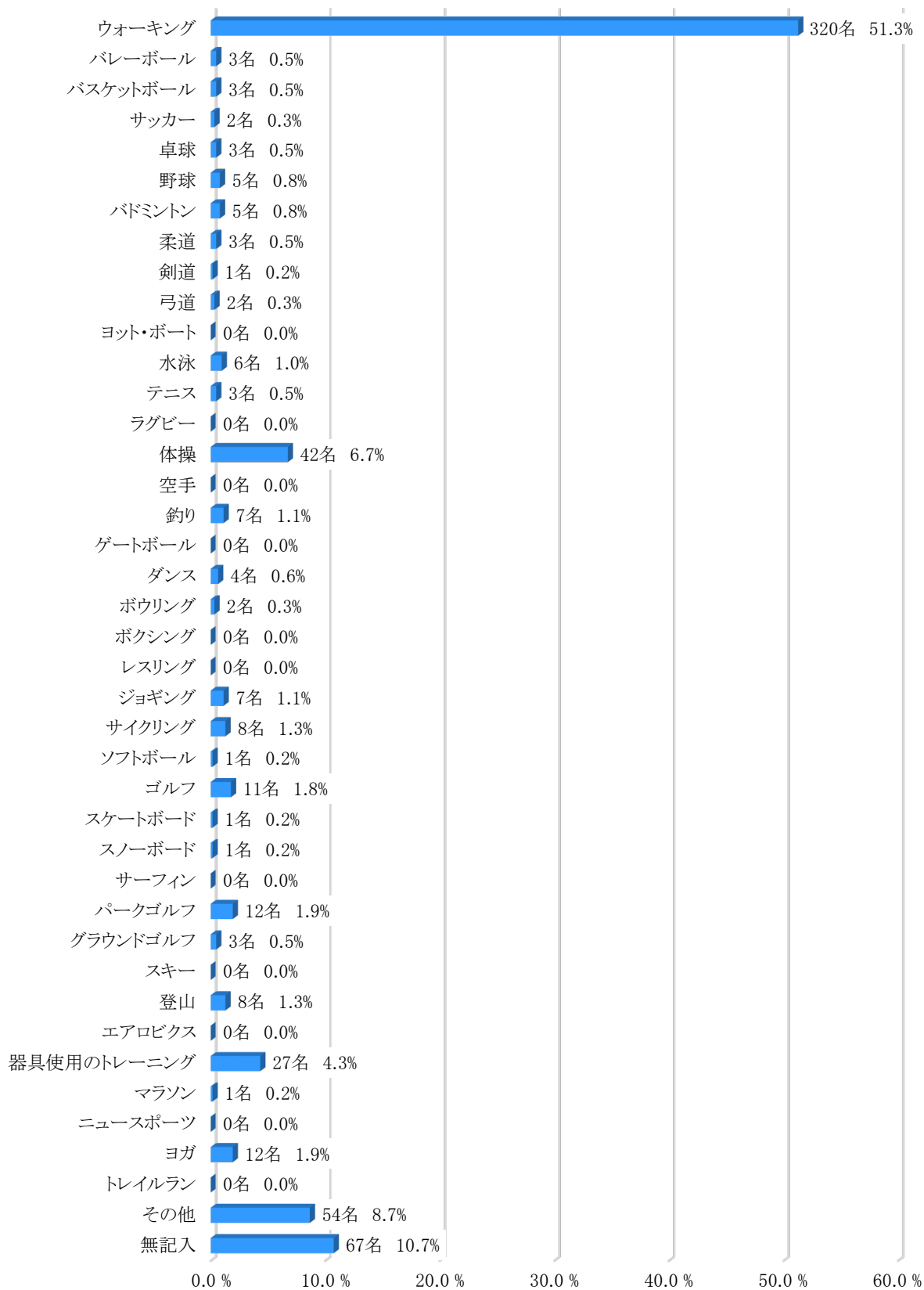
回答者のほとんどが【運動不足】を感じている状況であり、これを解消するために、身近な所で気軽に身体を動かすための施策を検討する必要があると考えられます。

問 36 直近1年間の運動頻度はどれくらいですか。1つ選んでください。



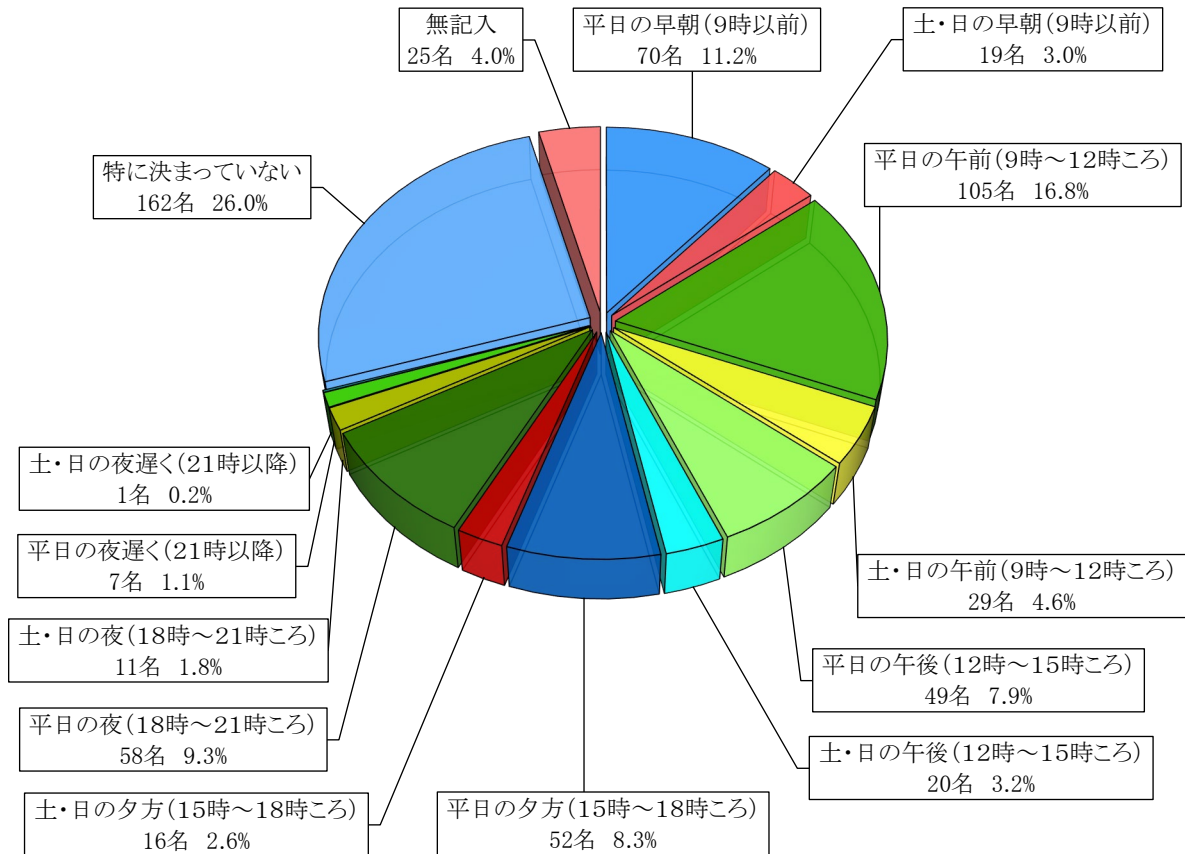
週1回以上の頻度でスポーツを行っている方が33.2%、まったく行わない方が33.3%となり、二極化がすすんでいます。今後は全く行わない方でも楽しめるスポーツを実施し、運動頻度の向上を図りたいと考えています。

問 37 この一年間に日常的に実施したものは何ですか。1つ選んでください。



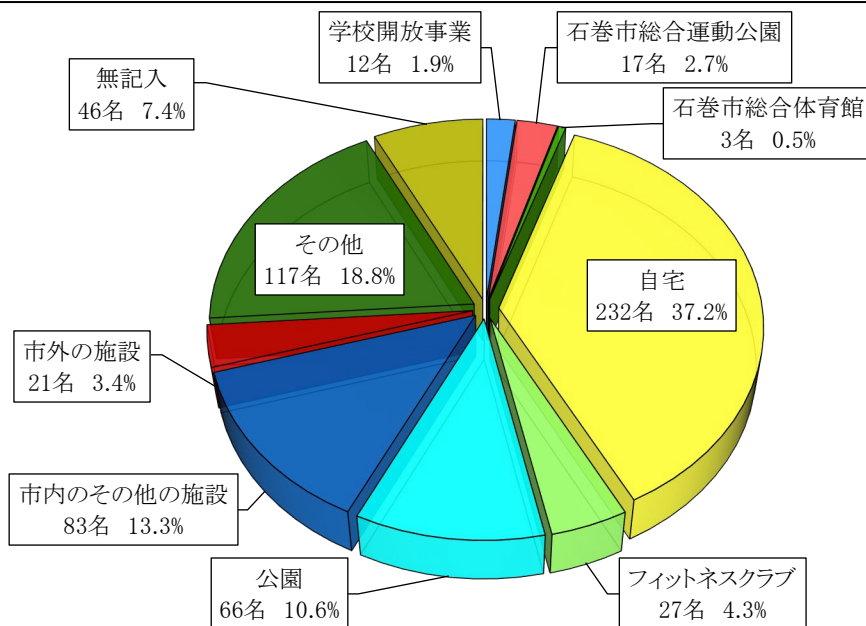
運動負荷が低く、手軽に実施できるウォーキングが人気だと考えられます。

問 38 運動やスポーツを行う際の時間帯について、1つ選んでください。



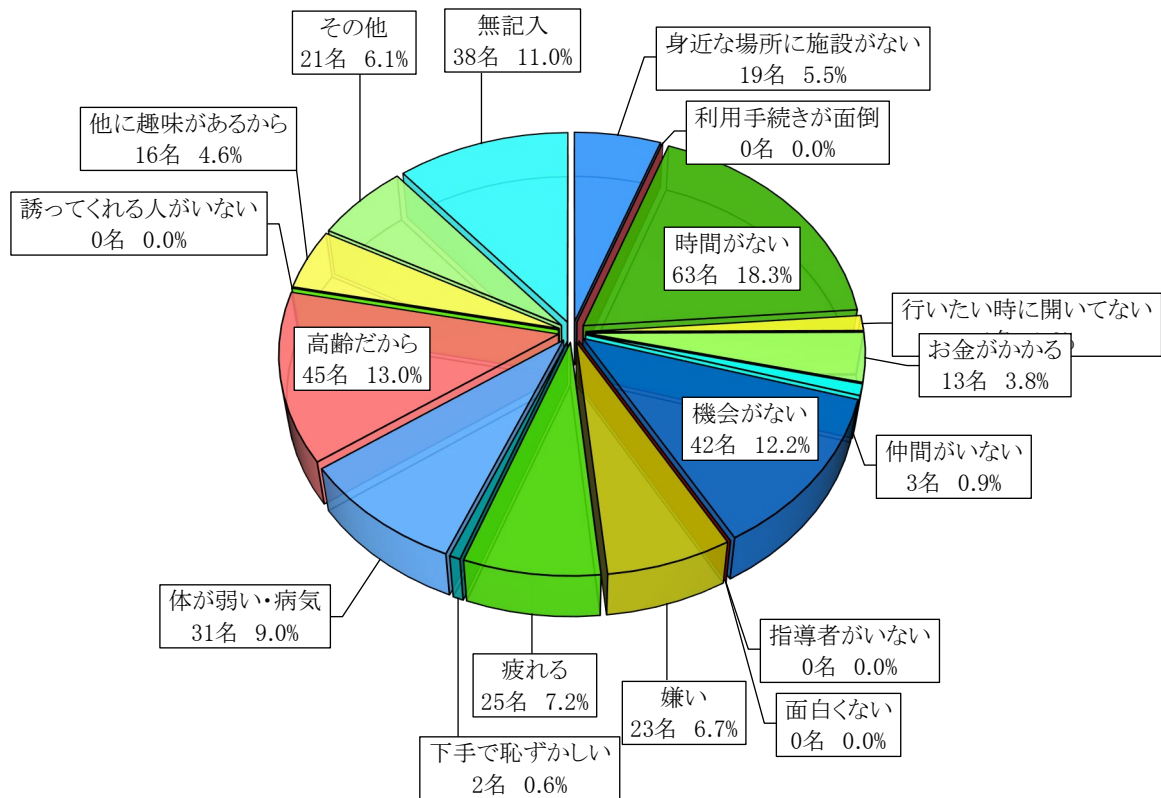
土・日よりも平日に実施されている方が多く、今後のイベント開催については、平日開催も検討していきます。

問 39 運動やスポーツ活動はどこで行っていますか。1つ選んでください。

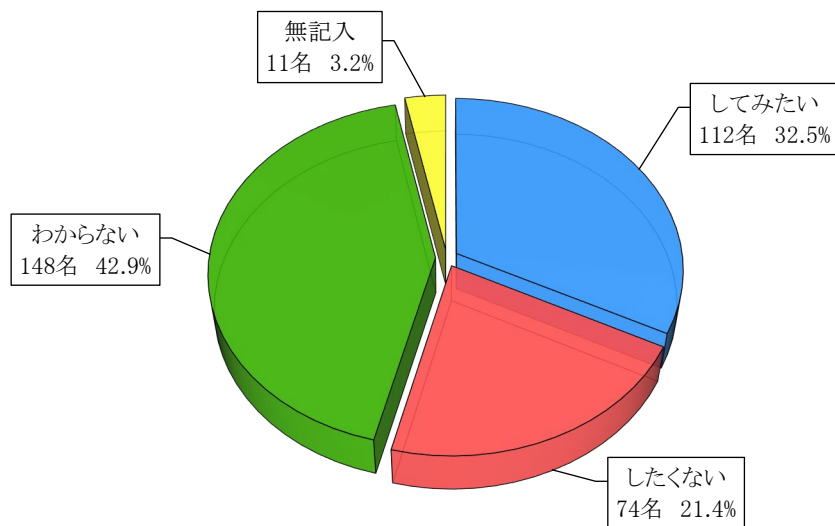


自宅が最も多く、コロナ渦でも手軽に実施できる場所が人気であると考えられます。

問 40 運動・スポーツを行わない理由は何ですか。1つ選んでください。

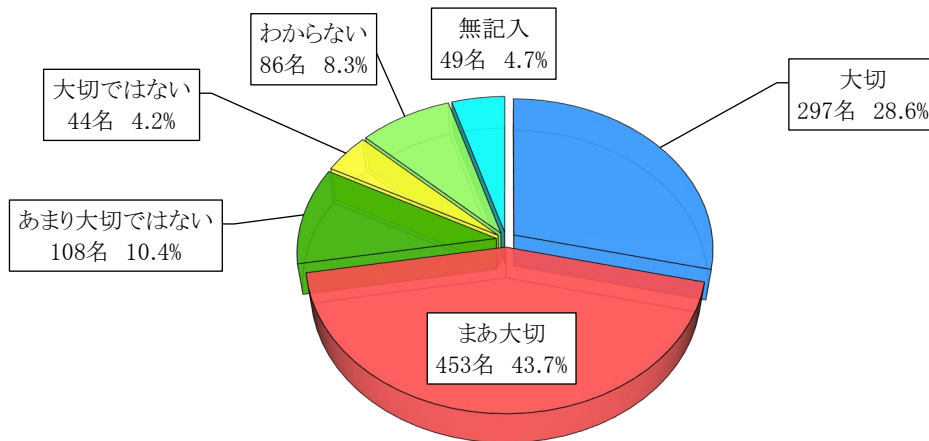


問 41 条件を整えば、今後、運動やスポーツをしてみたいですか。1つ選んでください。また、「1. してみたい」を選択した方は、希望の時間帯を記入してください。



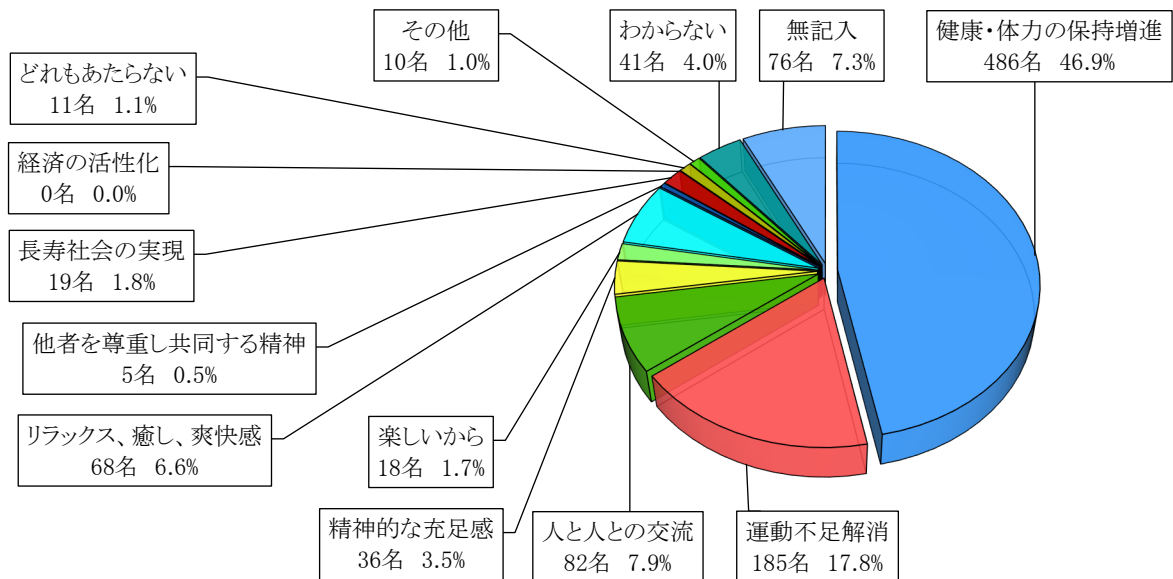
スポーツを行わない理由について一番多かったのは「没有时间から」が18.3%や「機会がない」が12.2%となっており、取り組みたくても取り組むことができない状況の方が多く伺えます。また「身近な場所に施設がない」と答えた方が5.5%となっており、条件を整えば、今後スポーツをしてみたいですかの問いには、「してみたい」と回答した方が32.5%となっていることから、今後のスポーツ人口の増加に期待できると考えられます。

問 42 あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか。1つ選んでください。

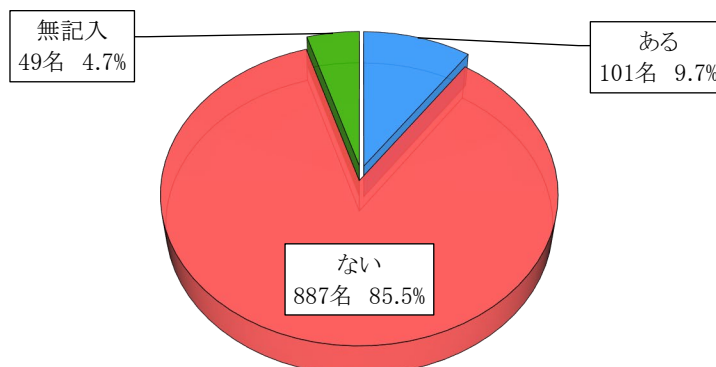


スポーツを大切と考えている方が72.3%と過半数を超えている状況です。多くの市民にとって、スポーツは大切な活動であると考えられます。

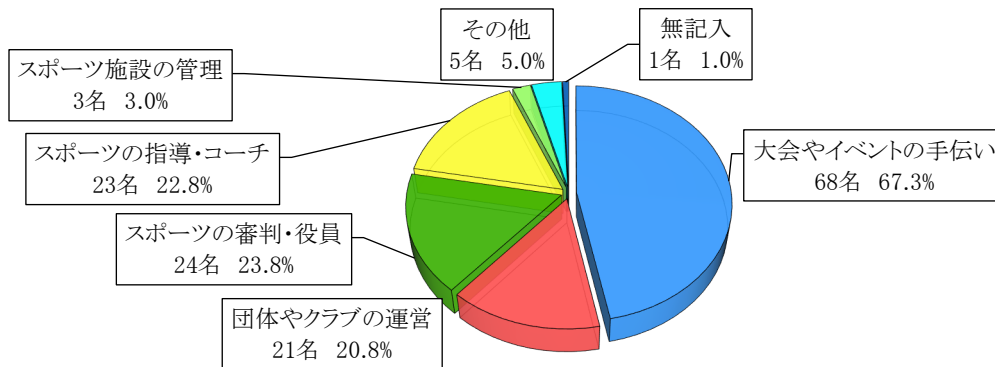
問 43 運動・スポーツが個人や社会にもたらす効果について、1つ選んでください。



問 44 運動・スポーツに係るボランティア活動を行ったことがありますか。

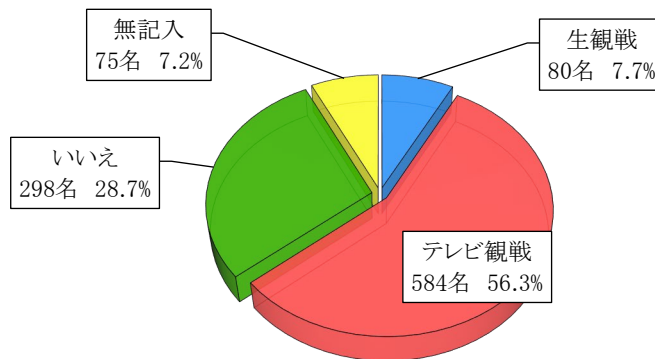


問 45 問 44 で「1. ある」と回答した方は、何のボランティア活動でしたか。当てはまるものをすべて選んでください。

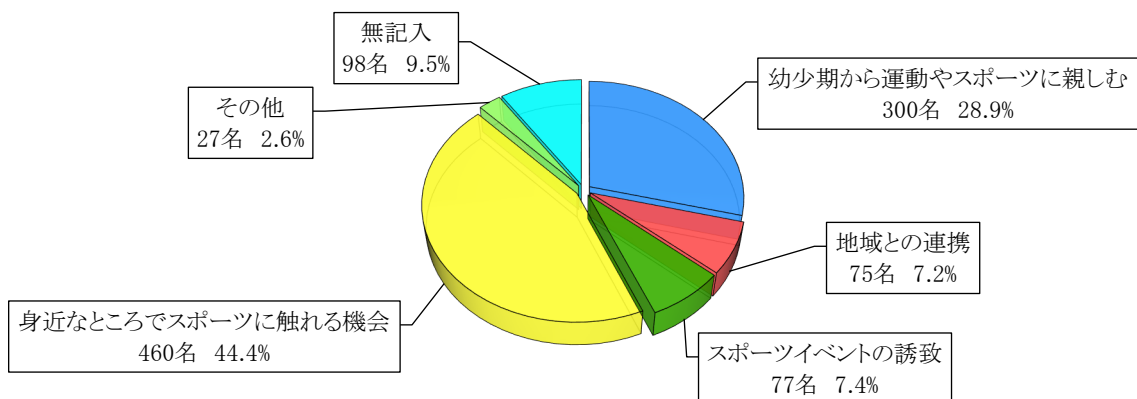


ボランティア活動を行ったことがあるかの問いに対して「行ったことがない」と回答した方が 85.5%となり、今後のスポーツを支える側においても、スポーツに関われる場の提供を構築し、スポーツが地域社会づくりに貢献できるような取組ができれば大きな意義に繋がるのではないかと考えております。

問 46 この一年間に、プロスポーツや国際大会などを観戦しましたか。1つ選んでください。また「1. 生観戦」、「2. テレビ観戦」を選択した方は種目を記入してください。



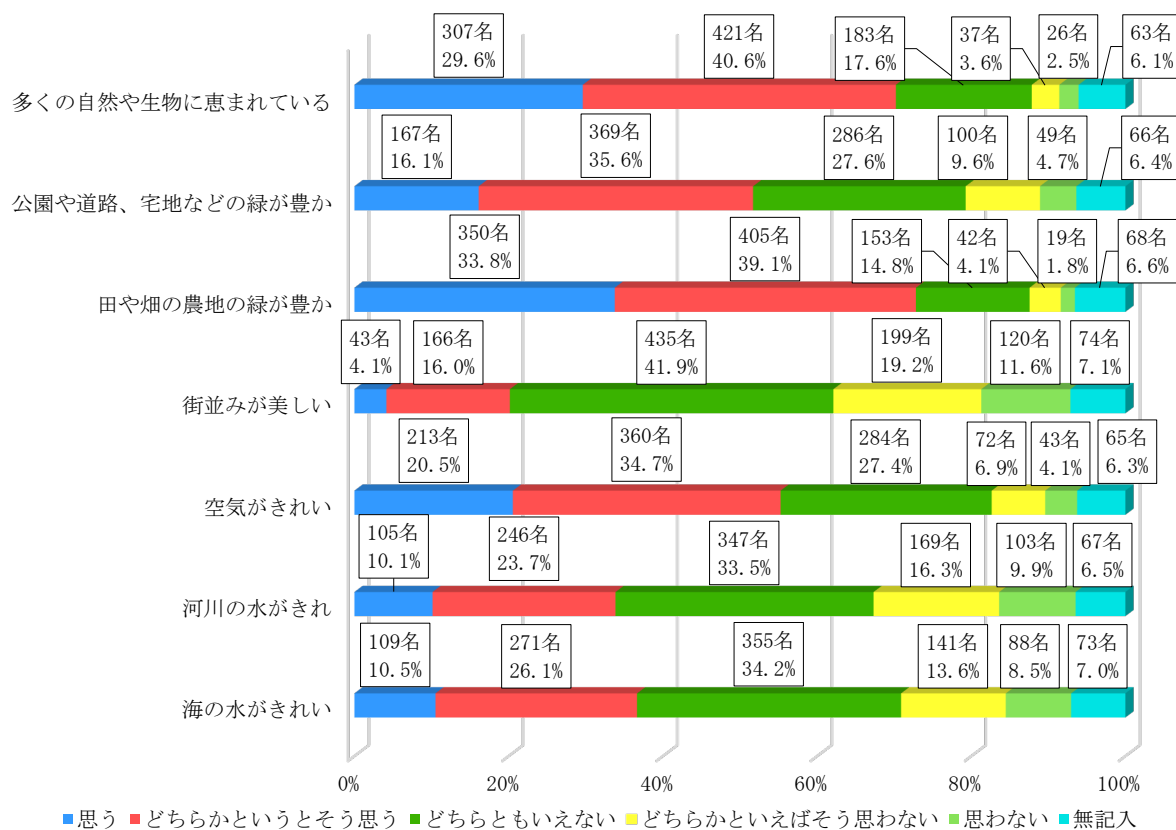
問 47 スポーツ活動を盛んにするためには何が必要だと思いますか。1つ選んでください。



スポーツを盛んにするためには何が必要かについて、最も多かったのが「身近なところでスポーツに触れる機会」が 44.4%で、次に多かったのが「幼少期から運動やスポーツに親しむ」が 28.9%という結果でした。以上のことから、幼少期から身近なところで運動やスポーツに親しむ機会の重要性がうかがえます。引き続き、スポーツ協会と連携しイベント等についてより良い事業運営を目指していきます。

9 石巻市の環境について

問 48 あなたは石巻市の環境についてどう思いますか。各項目につき1つ選んでください。



ア 多くの自然や生物に恵まれている

多くの自然や生物に恵まれていると思う市民が多い結果となりました。

本市は海、山、川など豊かな自然に囲まれ、そこには多種多様な生物が生息・生育していることから、これらを地域の財産として後世に引き継いでいくため、人の暮らしと自然が調和する地域づくりに取り組んでいく必要があります。

イ 公園や道路、宅地などの緑が豊か

公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思う市民が半数以上となりました。

宅地開発や道路整備を進める際には緑化に配慮し、自然環境を保全しながら実施することが求められ、身近に緑とふれあえる環境を創出していく必要があります。

ウ 田や畑の農地の緑が豊か

田や畑の農地の緑が豊かだと思っている市民が多い結果となりました。

自然と調和した良好な景観はふるさとの誇り、そして地域の魅力であることから、その保全や創出に取り組んでいく必要があります。

エ 街並みが美しい

街並みの美しいところだと思わない市民が多い結果となりました。

魅力あるまちづくりに向けて、地域の景観に目を向け、自然や文化、歴史などを学び、体験しながら、地域特性を活かした景観の形成を推進し、魅力あるまちづくりを推進していく必要があります。

オ 空気がきれい

空気がきれいだと思っている市民が多い結果となりました。

市民ひとりひとりが健康な生活を送るために、大気を安全な状態に保つことが必要不可欠です。そのため、日常生活を取り巻く環境について、市民が安心して暮らすことのできる良好な状態の維持に向け「環境負荷の低減」に取り組んでいく必要があります。

カ 河川の水がきれい

河川の水がきれいだと思う市民が、思わない市民をわずかに上回る結果となりました。

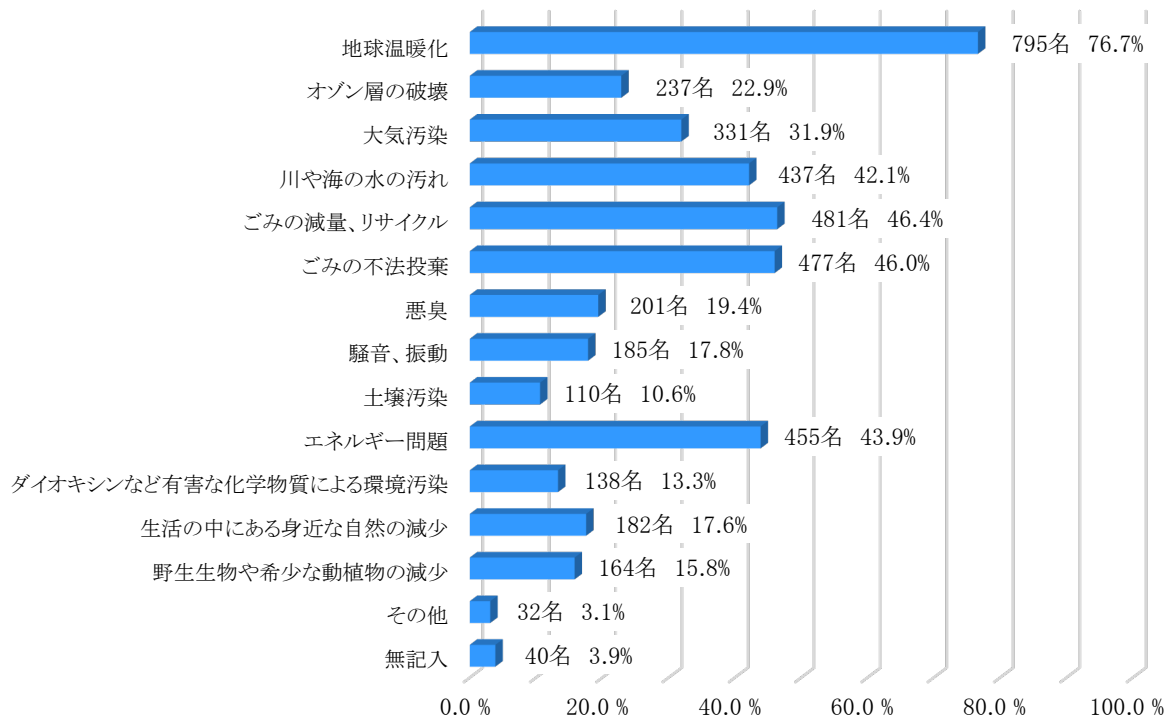
河川の汚濁は結果として海洋汚染にもつながるため、水環境の監視を行いながら安全で清らかな水の確保に向けて取り組んでいく必要があります。

キ 海の水がきれい

海の水がきれいだと思う市民が、思わない市民を上回る結果となりました。

海の汚濁を防止するために、水環境の監視を行うとともに、水質汚濁防止に関し、普及・啓発を推進していく必要があります。

問 49 あなたが関心のある環境問題をすべて選んでください。

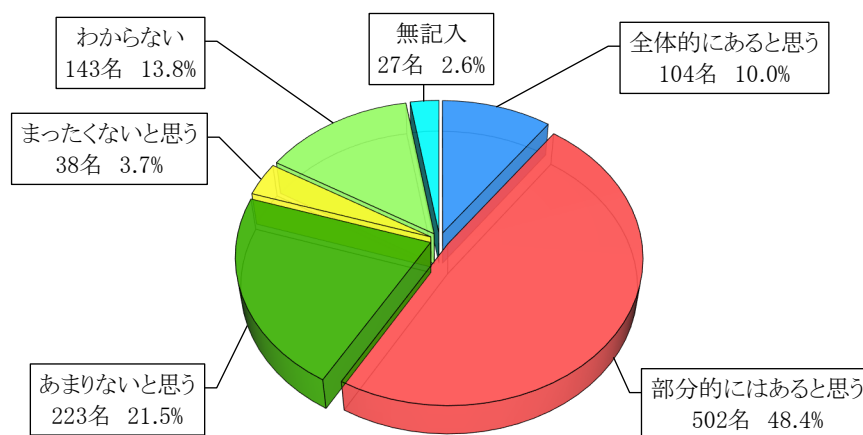


環境問題については、特に地球温暖化やエネルギー問題、ごみの問題や川や海の水の汚れに関心を持っている市民が多い結果となりましたが、全ての項目において前年度調査よりも比率が高くなっており、環境問題について関心や意識が高くなってきていることが分かります。

私たちは、これらの環境問題を身近な問題として捉え、ひとりひとりが環境問題について正しい知識を持ち、正しく行動する「環境市民」として生活していくことが強く求められます。

10 地域福祉について

問 50 あなたの住んでいる地域には、困っている時に助け合う意識があると思いますか。1つ選んでください。

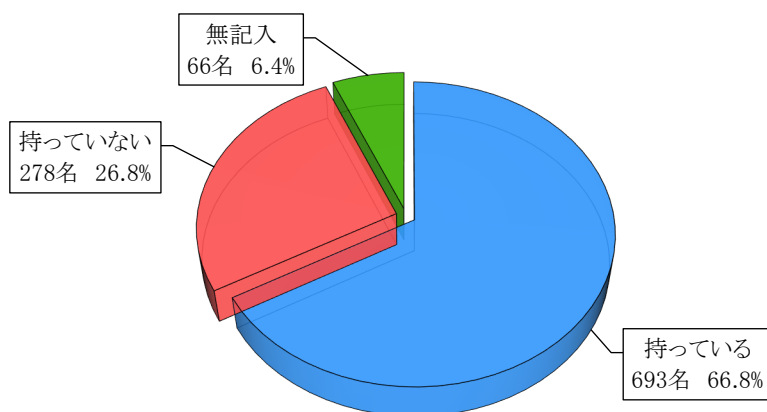


地域での助け合いの意識が「全体的にあると思う」が10.0%、「部分的にはあると思う」が48.4%であり、助け合う意識があると思っている人の合計は58.4%となっています。

一方、「あまりないと思う」が21.5%、「まったくないと思う」が3.7%であり、助け合う意識がないと思う人は25.2%となっています。

このことから、地域の誰もが助け合いの気持ちをもって、お互いに支え合い安心して暮らせる体制づくりが必要であると考えます。

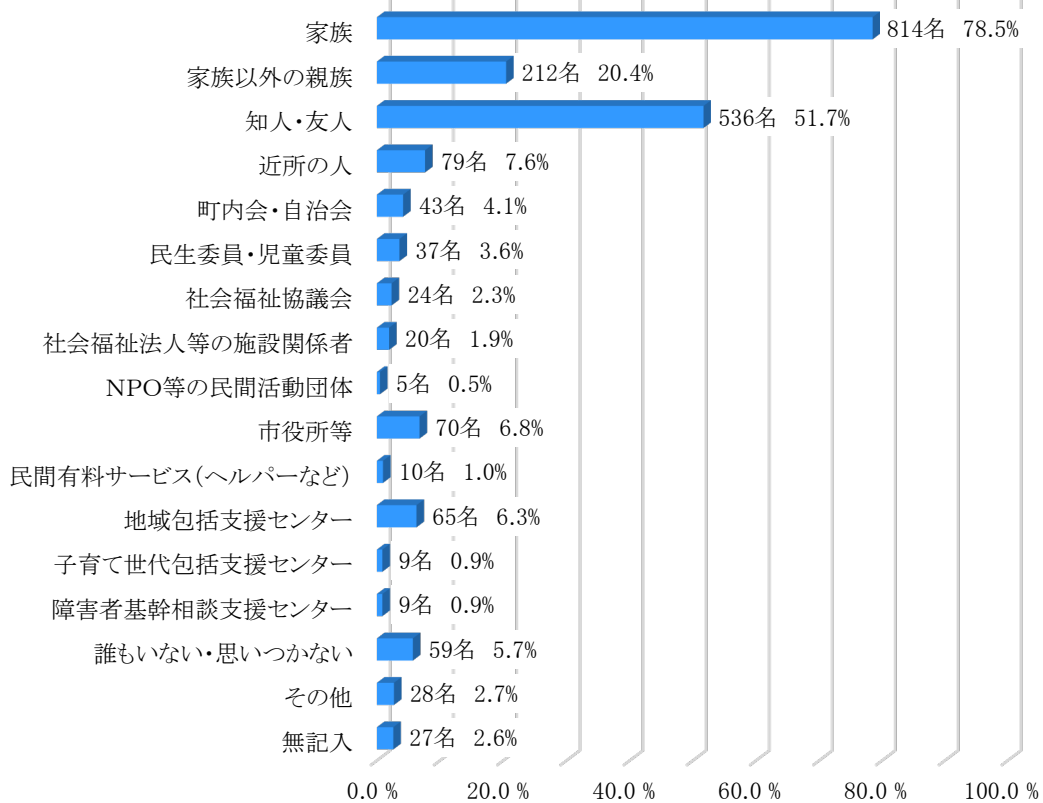
問 51 あなたは普段の生活で生きがいを持っていますか。1つ選んでください。



生きがいを持っている人は66.8%となっており、多くの市民が生きがいを持って生活をしていることがわかります。

一方で、生きがいを持っていない人が26.8%いることから、生きがいづくりにつながる趣味の活動や身近な地域住民によるサロン活動への参加等で、生きがいを持つきっかけとなる機会を促進することにより、多くの市民が自分らしく生き生きとした生活が送れるようになるものと考えます。

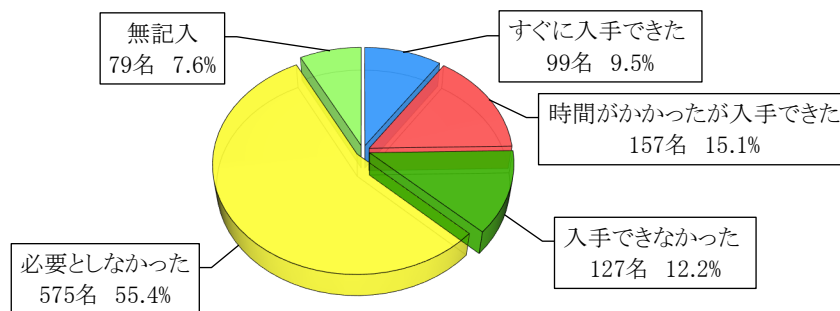
問 52 あなたは日常生活の困りごとを誰に相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください。



日常生活の困りごと相談を誰にするかについて、「家族」が78.5%と最も多く、次いで「知人・友人」が51.7%となっています。

一方、「誰もいない・思いつかない」が5.7%となっているため、市や関係機関が行っている各種相談窓口について、市報、市ホームページはもとより、あらゆる機会を通じて、広く周知を図る必要があると考えます。

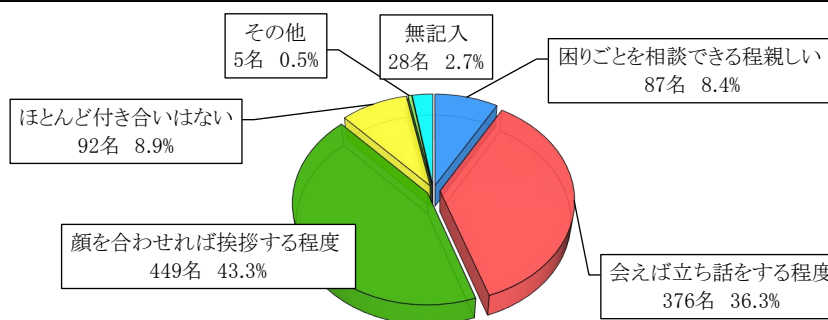
問 53 あなたは、地域の助け合いやボランティア活動に関する情報や知識を必要としたときに、入手することができましたか。1つ選んでください。



地域の助け合いやボランティア活動に関する情報や知識の入手について、「すぐに入手できた」が9.5%、「時間がかかったが入手できた」が15.1%、「必要としなかった」が55.4%となっています。

一方、「入手できなかった」が12.2%となっているため、市や関係機関の広報紙等に加えて、多様な媒体を通じて情報発信し、必要な情報が得られるよう検討する必要があると考えます。

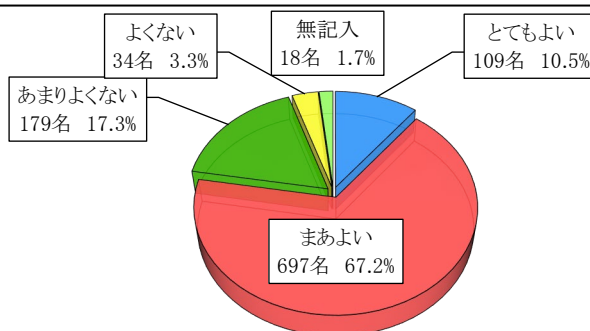
問 54 ご近所付き合いについてお聞きします。あなたは、ご近所とどの程度お付き合いをしていますか。1つ選んでください。



近所付き合いについて、「困りごとを相談できる程親しい」、「会えば立ち話をする程度」を合わせると、44.7%の方が地域とのつながりを持っています。

その中で、「困りごとを相談できる程親しい」との回答が8.4%となっているため、お互いを思いやり気軽に相談できる関係性を構築し、困りごとの解決に向けて取り組める地域づくりが必要であると考えます。

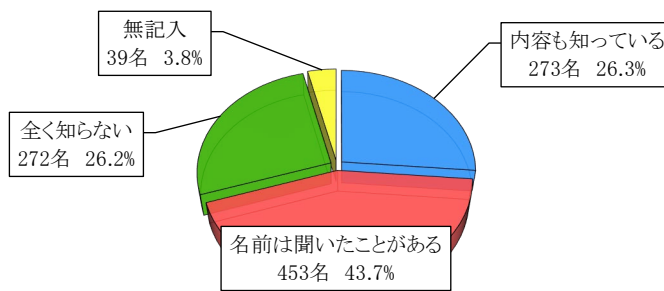
問 55 あなたの健康状態について、1つ選んでください。



健康状態について「とてもよい」が10.5%、「まあよい」が67.2%となっており、合わせて77.7%の方が健康状態は良いと回答しています。

一方、「あまりよくない」が17.3%、「よくない」が3.3%となっており、合わせて20.6%の方は健康状態に不安を抱えていることから、誰もが自分に合った、生涯を通じた健康づくりを地域全体で推進していくことが必要であると考えます。

問 56 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。1つ選んでください。

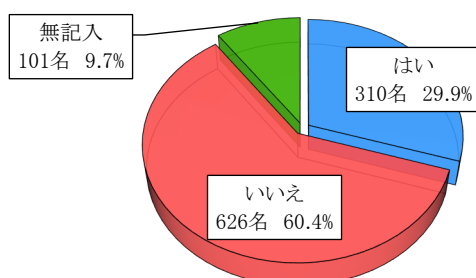


成年後見制度の認知度について、「内容も知っている」、「名前は聞いたことがある」を合わせると、70%となり、制度の名称については比較的認知度が高いと思われます。

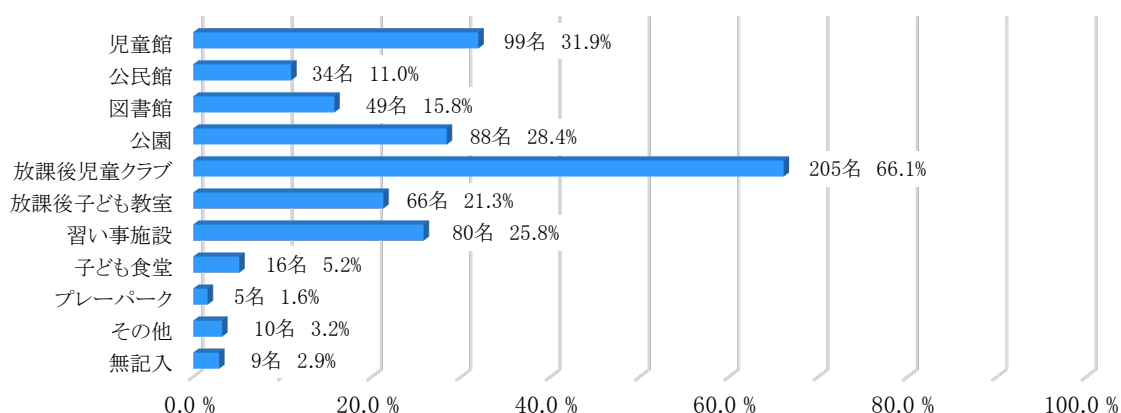
その中で制度の詳細を把握している方は、26.3%に留まっており、今後は制度の内容の周知に踏み込んだ広報活動が必要であると考えます。

11 子どもの居場所づくりについて

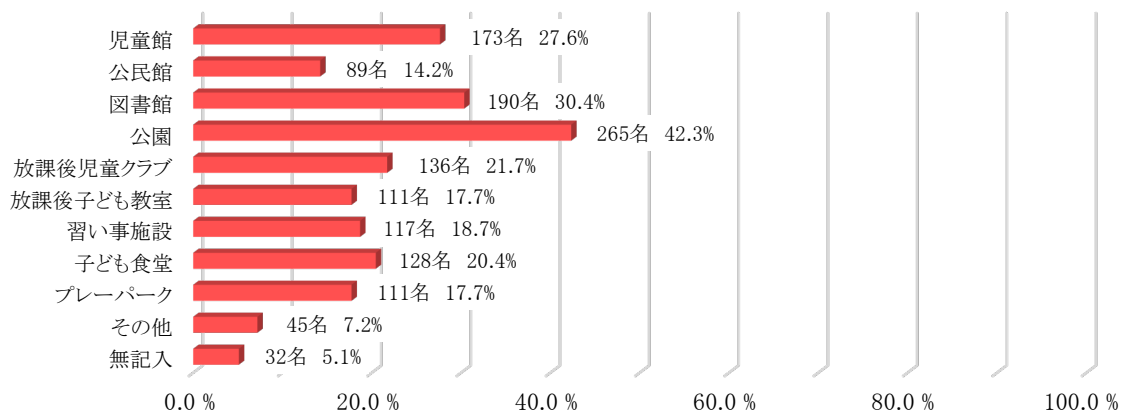
問 57 あなたは、石巻市の子どもにとって、家でも学校でもない居場所が充実していると感じていますか。1つ選んでください。



問 58 問 57 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。充実していると感じる主な場所はどこですか。当てはまるものをすべて選んでください。



問 59 問 57 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。充実していないと感じる主な場所はどこですか。当てはまるものをすべて選んでください。



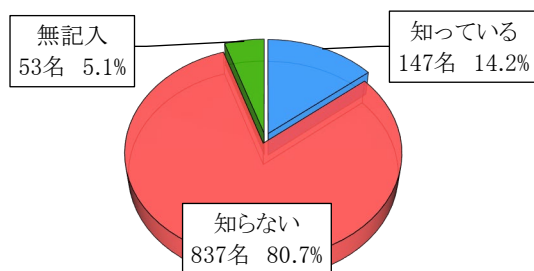
石巻市の子どもにとって、家でも学校でもない居場所が充実していることについて「はい」と回答した方が29.9%で、「いいえ」と回答した方が、60.4%、約5人に3人が充実していないと感じています。

充実していると感じている主な場所としては「放課後児童クラブ」を挙げる方が多くなりましたが、一方で「子ども食堂」、「プレーパーク」といった居場所については、回答数が少ないことから、事業を幅広く市民に周知し、認知していただくことが必要であるとうかがえます。

次に充実していないと感じている主な場所は「公園」、「図書館」、「児童館」となっています。居場所の拡充を目指し、施設の整備等を検討していくことが必要です。

12 子どもの権利について

問 60 石巻市では、子どもの権利を推進しており、子どもの権利に関する条例を制定しています。「子どもの権利の内容」を知っていますか。



石巻市では、子どもの権利を推進しており、子どもの権利に関する条例を制定していますが、子どもの権利の内容を知っているかについて、「知っている」と回答した方が14.2%で、「知らない」と回答した方が、80.7%、約5人に4人が「知らない」と回答しています。

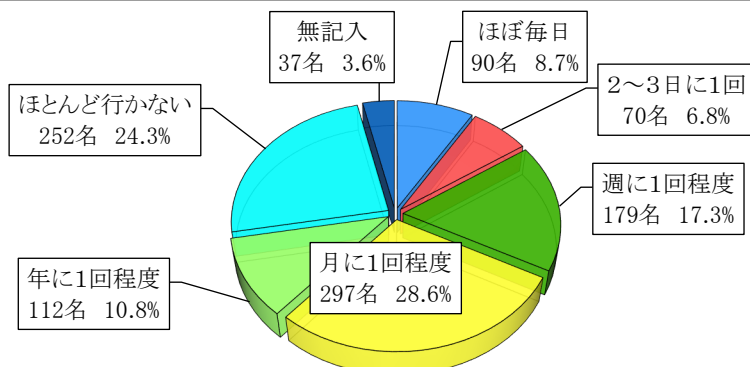
子どもの権利の内容を知らない割合が多いことから、事業を幅広く市民に周知し、認知していただくことが必要であるとうかがえます。

このことから、「石巻市子どもの権利に関する条例」の周知啓発を図り、子どもの権利についての理解を深める取り組みを、更に推進していくことが必要です。

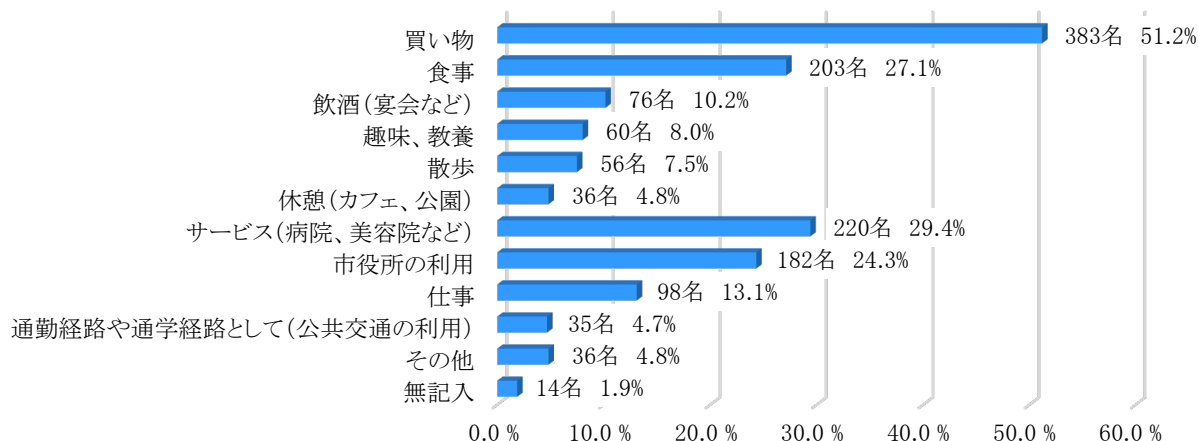
13 石巻市中心市街地活性化について

○中心市街地の利用状況などについてお聞きします。

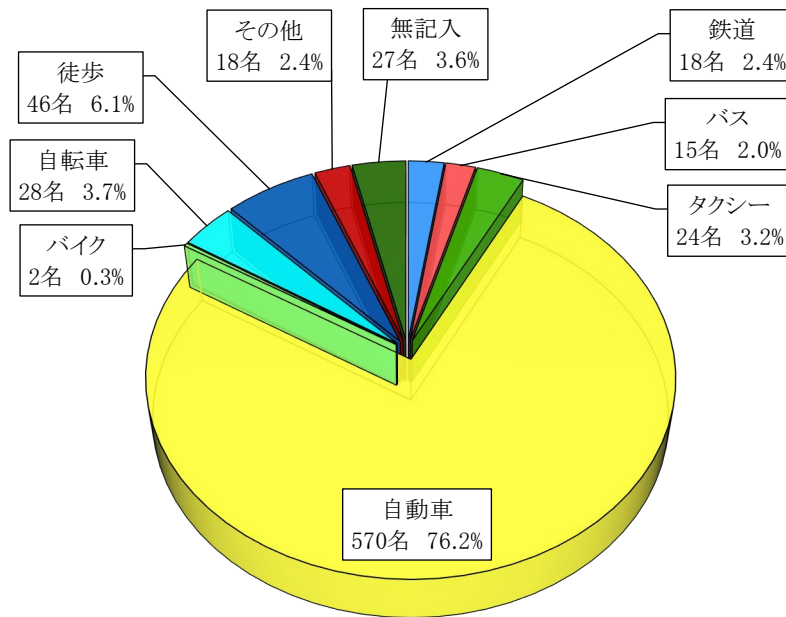
問 61 中心市街地へ出かける（利用する）頻度はどれくらいですか。1つ選んでください。



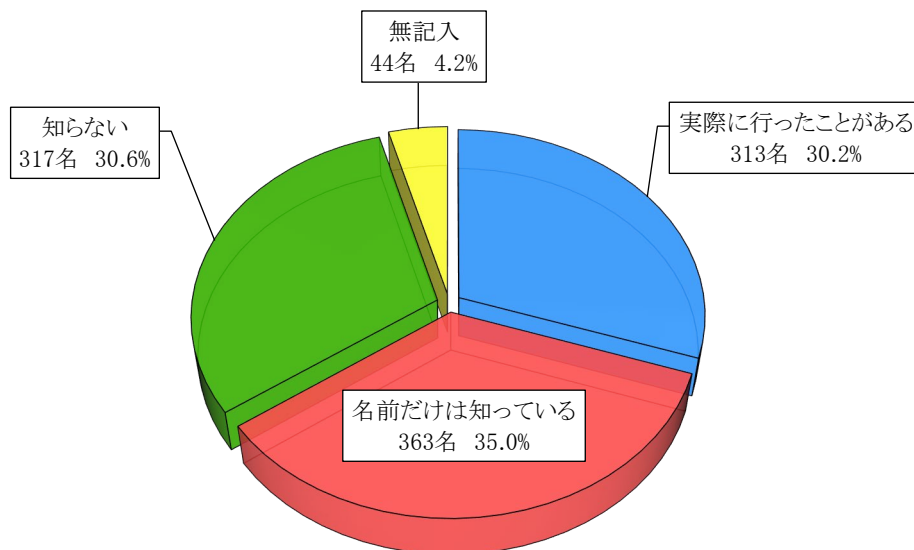
問 62 どのような目的で中心市街地に出かけますか（利用しますか）。3つまで選んでください。



問 63 主にどのような交通手段で訪れていますか。1つ選んでください。



問 64 かわまちオープンパーク（いしのまき元気いちば前の堤防空間）について知っていますか。1つ選んでください。



中心市街地へ出かける（利用する）頻度は、「月に1回程度」が28.6%で最も多く、次いで「ほとんど行かない」が24.3%となっております。

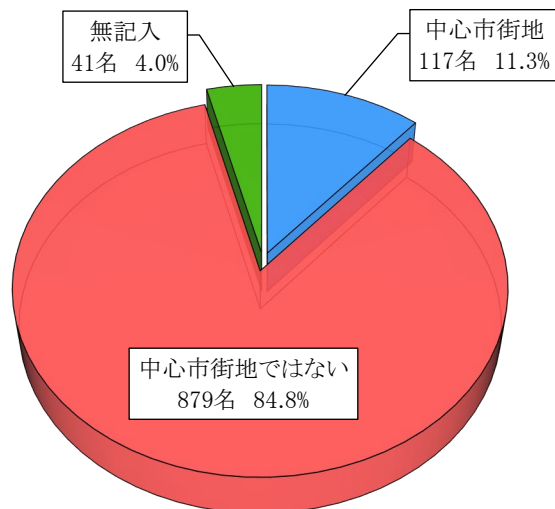
中心市街地に出かける（利用する）目的は、「買い物」が51.2%で最も多く、次いで「サービス（病院・美容院など）」が29.4%、「食事」が27.1%となっております。

交通手段については、「自動車」が76.2%と突出して多い結果となっております。

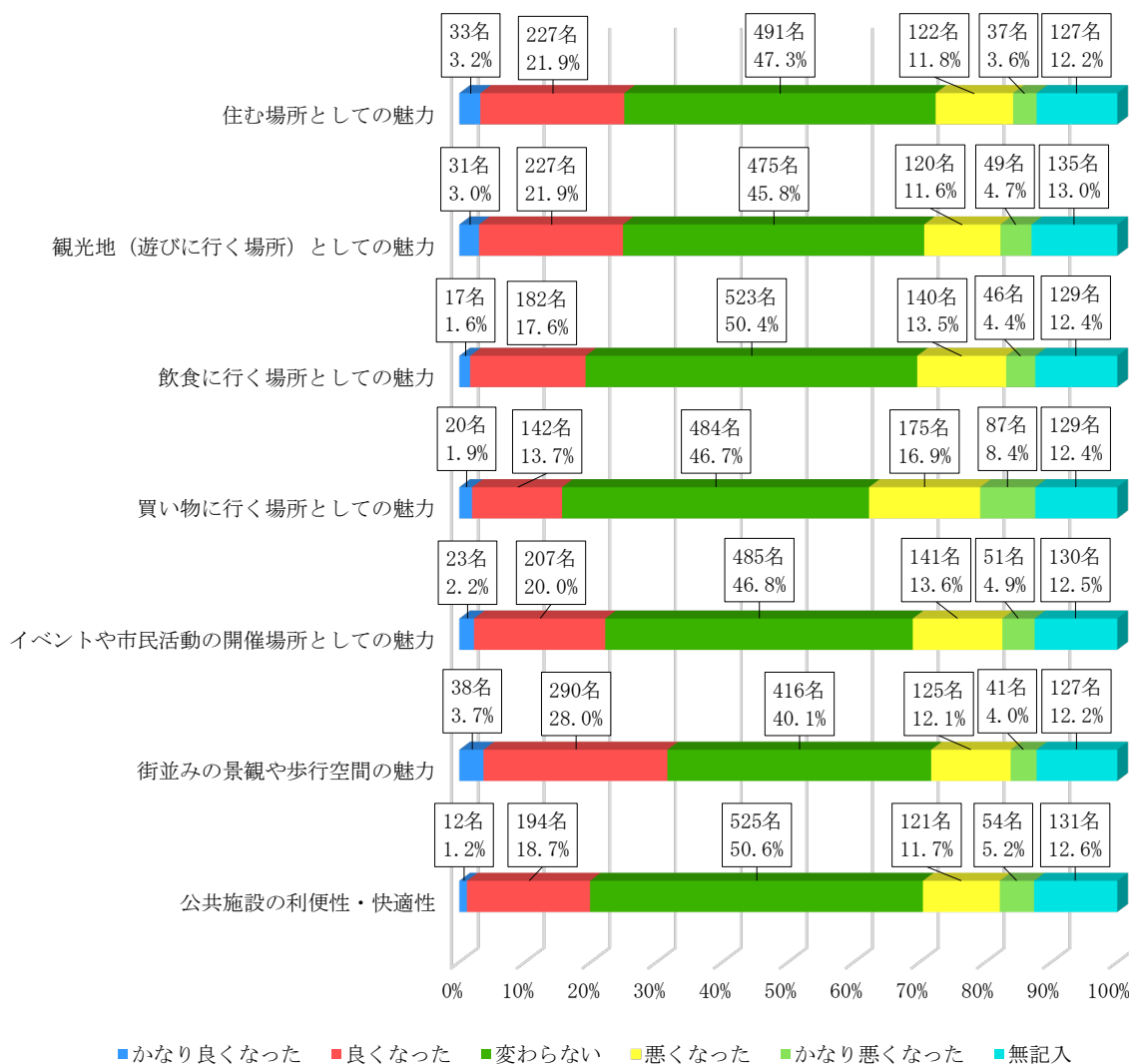
また、中央二丁目の北上川河口部の堤防一体空間（かわまちオープンパーク）についても「名前だけは知っている」が、35%と最も多く、次いで「実際に行ったことがある」30.2%となっております。中心市街地に日常的な用途（買い物等）として、足を運ぶ人は多い中、認知度に比べかわまちオープンパークを訪れる方は、少ない傾向にあることから、「憩い」や「散歩」の場として、気軽に訪れることができる活気と魅力あふれる、歩いて楽しい中心市街地としての活性化を図ってまいります。

○中心市街地の活性化状況についてお聞きします。

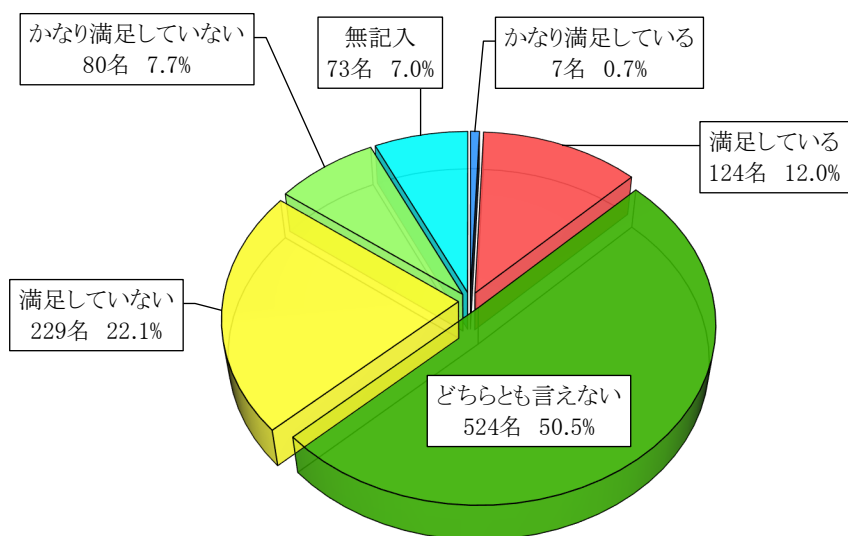
問 65 現在のお住まいはどちらですか。1つ選んでください。



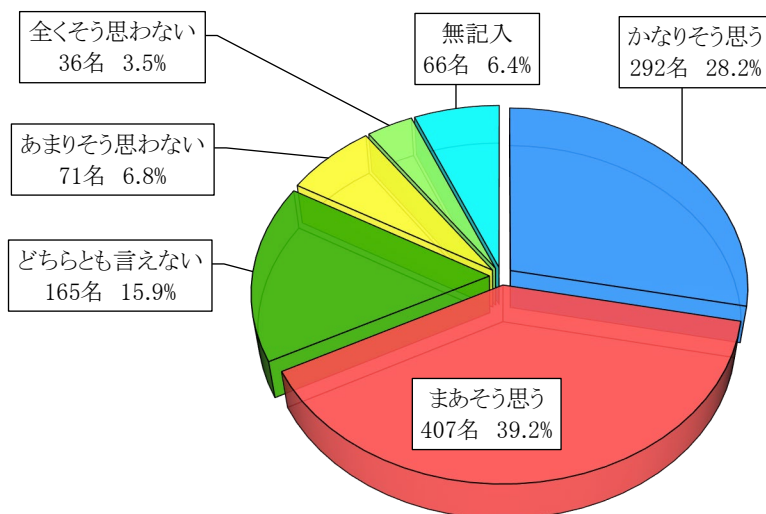
問 66 中心市街地の状況について、5年前と比較してどのように感じていますか。各項目につき1つ選んでください。



問 67 現在の中心市街地の状況に、満足していますか。1つ選んでください。



問 68 中心市街地の活性化は、大切なことだと思いますか。1つ選んでください。



問 69 石巻市中心市街地の街づくりに望むものは何ですか。(自由記述)

多くの自由記載回答をいただきましたが、代表的な回答は以下のとおりです。

※回答数：324件

- ・ 無料で気軽にやすめる場所（屋内）カフェなどのお店が欲しい。
- ・ 中心市街地で日常の買い物等全てがクリアできれば良いと思います
- ・ 他県からの観光客の増加と、個性のあるお店の進出
- ・ 街路樹を増やしてほしい。一方通行多すぎる。歩道の整備。何の店かわからない店が多い。車のパーキング安く
- ・ 中心市街地にある公共施設が誰がいつ何のために使う場所なのか分からない。(防災センター、ささえあいセンターなど。もっと多くの市民が使える図書館のような施設が中心市街地にあってほしい。)
- ・ 一方通行の道路が多すぎるため、もっと通りやすい道にして欲しい
- ・ 店舗の活性化、無料駐車場
- ・ 駐車スペースがない、個々の店に魅力がない
- ・ シャッター通りが多いので店が賑やかになること、人口が増えること、観光客が増えること（石巻の歴史、食材、土産品に飛びつくようなもの、魅力ある宿など）
- ・ 駐車場がない、欲しいものが売ってる店がない
- ・ 復興住宅が多くなり高齢者の割合も多くなっていると思うので交通手段としてバスやタクシーを使わず徒歩や車イスでも充分満足出来る街になるともっと良いと思う。
- ・ 観光で来た人が泊まって食べておみやげを買えるような市街地になって欲しい。マンガを生かして！！イベントを！市民も市街地に行きたくくなるようなイベントやお店があると嬉しい。市役所駐車場使いやすくなると嬉しいです！
- ・ 目的なく歩いていても気軽にフラッと入れるお店があるといい（常連さんじゃなくても）
- ・ 活気がない。立町通りは若者が興味をわくお店がない。オシャレさもない。緑もきれいに整備し、小さい子どもたちも集まれるような環境にしてほしい*充実した公園が少ない(市街地以外)
- ・ 人の行き交うにぎやかな街。そのための飲食店、観光施設（市民、市外の人を含めて）。交通の便（駐車場含む）の充実
- ・ 住吉公園、旧市役所付近に人が集まる施設、買い物できる遊びのスペースづくり、駅前集中でない、まちづくりをしてほしい。
- ・ 交通手段の充実・商業施設の充実・店の数を増やす
- ・ オシャレなカフェがあると良い。シャッター通りが多いため、店の活性化も行うとよいと思った。時代に合わせた街が良いと思う。
- ・ 石巻市街地が蛇田方面に移行してきている。こちらばかりに人口が集中しすぎているので、石巻駅方面も新たな地元民でも魅力を感じる商業施設ができると良いと思う（観光地としても中途半端なので...）
- ・ 交通の便。買い物時の無料駐車場
- ・ 駅の中に待ち合わせ場所がない。イスなどを置いて欲しい。無料の駐車場がない（観光客用）（買い物用）食べ歩きできるともっと人が来ると思う。
- ・ 中心市街地に店が少なすぎる
- ・ 歩きやすく、人が集まりやすい街づくり公共空間の活用、人と車の分離、バリアフリー
- ・ 真新しい飲食店は増えたが、とにかく「行きたい！」という気になれない。観光客目線だけでなく、住民の生活が便利になるような店舗が少ない。集客力のある店や施設が必要だと思う。図書館ももっと駅近にあれば、利用すると思う。せつかくのオープンパークやまんが館ももっと有効活用し集客を図るべき。
- ・ 他の店に行きたいと思った時、簡単に車を止める所が少ないのもっと駐車場を増やしてほしいです。(元気いちばの駐車場は良いと思います。)
- ・ 商店街の活性化、それに伴う交通機関の充実
- ・ マンガ館などの入場料金を市民は割引で入れるなどの市民がもう少し利用しやすい制度を考えてほしい。

- ・ 多賀城図書館のような施設が欲しい。駐車場が停めにくいパーキングが多いためそういった面の充実
- ・ 地元民でも中心市街地に満足な店などない中で観光に来る人が楽しめない。駅前からまんが館までの距離を歩きながら楽しめるようになってほしい。
- ・ 駐車場。特に立町通りなど店の前に停められないので入ってみたいくても入れない店があったりする。無料だとありがたい
- ・ シャッター街をなくし、若い人でも立ち入りやすい店舗を増やす
- ・ 交通の不便、利用したいお店があっても有料駐車場にとめるか歩いて遠かったすると足が遠退くのでなんとかならないものか。中瀬公園もものすごく行きづらいと思った。
- ・ 中心地とは思えない程、人の出が少ない事、住んでいる人、商店主の方々との協力が必要だと思います。自分勝手に営んでいるようで開いていても入りづらい。もう少しオープンにして気軽に出入りできるようにと思います。
- ・ 図書館、スポーツ施設（総合体育館）を山の上ではなく、自転車でも気軽に通えるように、羽黒町から立町や、中央に移動を強く望みます。図書館は大事ですので、老若男女 雪など関係なく自転車で通える場所をお願いいたします。
- ・ 街並みは良くなっていますが、大雨が降ると水はけが悪くまだ整備が必要だと思います。また買い物にはとても不便でどうしても他の場所で済ませることが多くなっています。
- ・ 人が集まりやすい、子供なら機能性の広い公園や無料の駐車場スペース、大型スーパーなど、小さい子を持つ親が行きやすい街づくりにしてほしい
- ・ カフェの充実、駐車場、子どもの遊ぶ
- ・ 道路が複雑。せまいのをどうにかする駐車場を増やす地元の若い方たちも遊びに行きたくなくなるような施設アクセス改善
- ・ 駐車場整備、商店街の充実。道路整備（一方通行が多く標識も分かりづらい）
- ・ 中心市街地はもう中心ではなく住宅地としか思っていない。交通の便も悪く駐車スペースも少ない。用がないので行きたいと思わない。
- ・ 交通の利便性 商店街の活性化
- ・ 無料の駐車場がない。あれば様々なイベントに参加しやすい。
- ・ 駐車場がなくて行きたくなくなることがない

回答者の居住地は「中心市街地」が11.3%、「中心市街地ではない」が84.8%、「無記入」が4.0%でした。

5年前と比較した中心市街地の状況については、「街並みの景観や歩行空間の魅力」について良くなったと答えた方が多く（計31.7%）、「買い物に行く場所としての魅力」については悪くなったと答えた方が多く（計25.3%）、商店街の衰退や街なかの駐車場に関する影響も含まれていると思われます。

現在の中心市街地の状況に満足しているかについては、「かなり満足している」「満足している」と答えた方が合計で12.7%である一方、「かなり満足していない」「満足していない」と答えた方が合計で29.8%となっております。また、中心市街地活性化は大切なことと思うかという問いについては、「かなりそう思う」「まあそう思う」の合計が67.4%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計が10.3%となっており、これら2点の結果から、より一層の中心市街地活性化施策の必要性が示されています。

問69「中心市街地の街づくりに望むもの」の自由記述では、324件のご意見をいただき、全体的なご意見としては「駐車場」に関するご意見が多く、年代別では10代・20代が「観光」や「カフェ」の充実といった意見が最も多くみられました。

また、中心市街地における「図書館」の必要性についても前回に引き続きご意見をいただきました。

中心市街地の在り方についてご意見もありましたが、「行政」「医療」「交通」「商業」等が一体となった「中心市街地」の更なる活性化に向け、今後も各種事業を確実に展開してまいります。

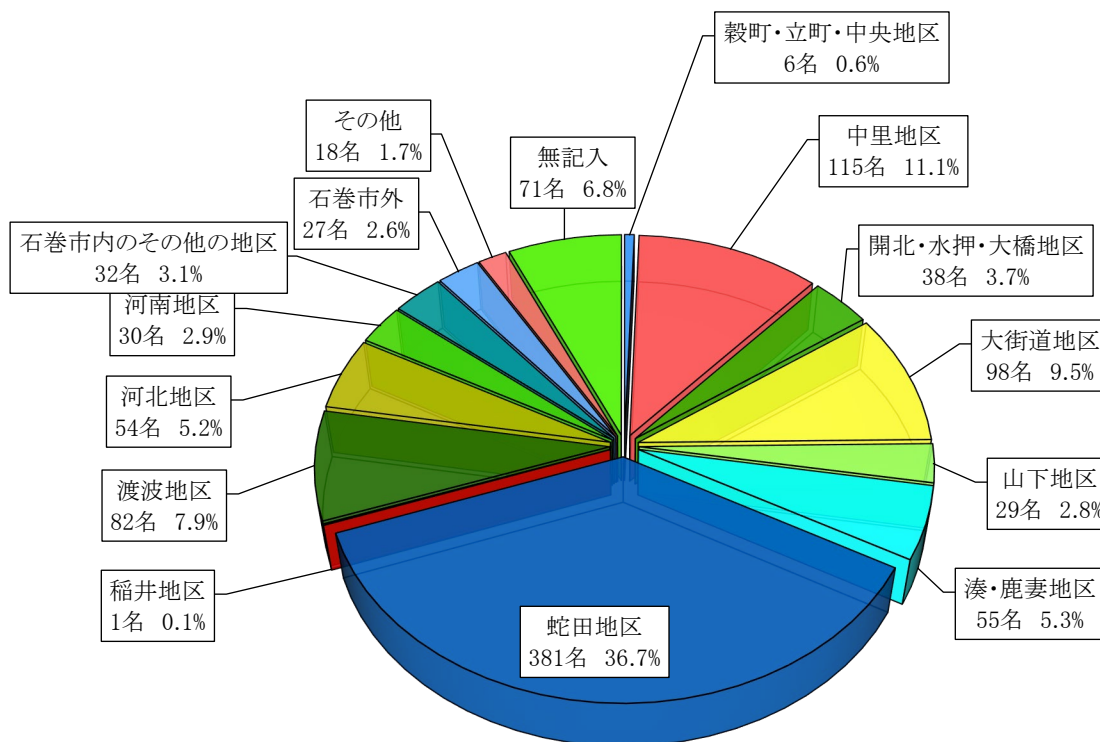
14 石巻市のまちづくりについて

○都市計画に関する質問です。あなたの普段の生活を振り返りながらお答えください。

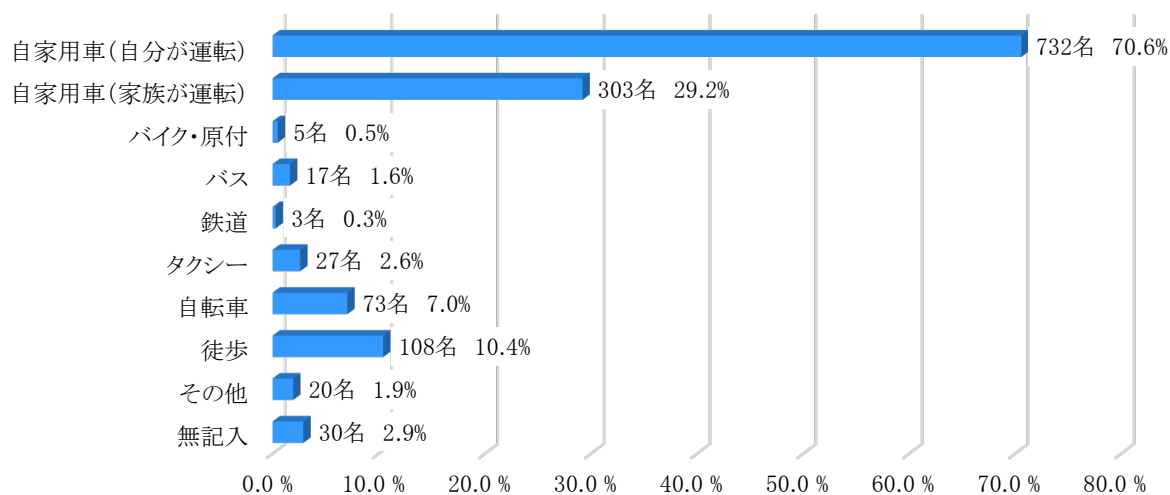
※都市計画が定められている地区は、石巻地区、河北地区、河南地区となっておりますが、皆さんにお聞きします。

問 70 食料品・日用品を買うための日常の買い物（スーパーなど）について

① 最もよく行く日常の買い物をする場所・地区はどこですか。1つ選んでください。

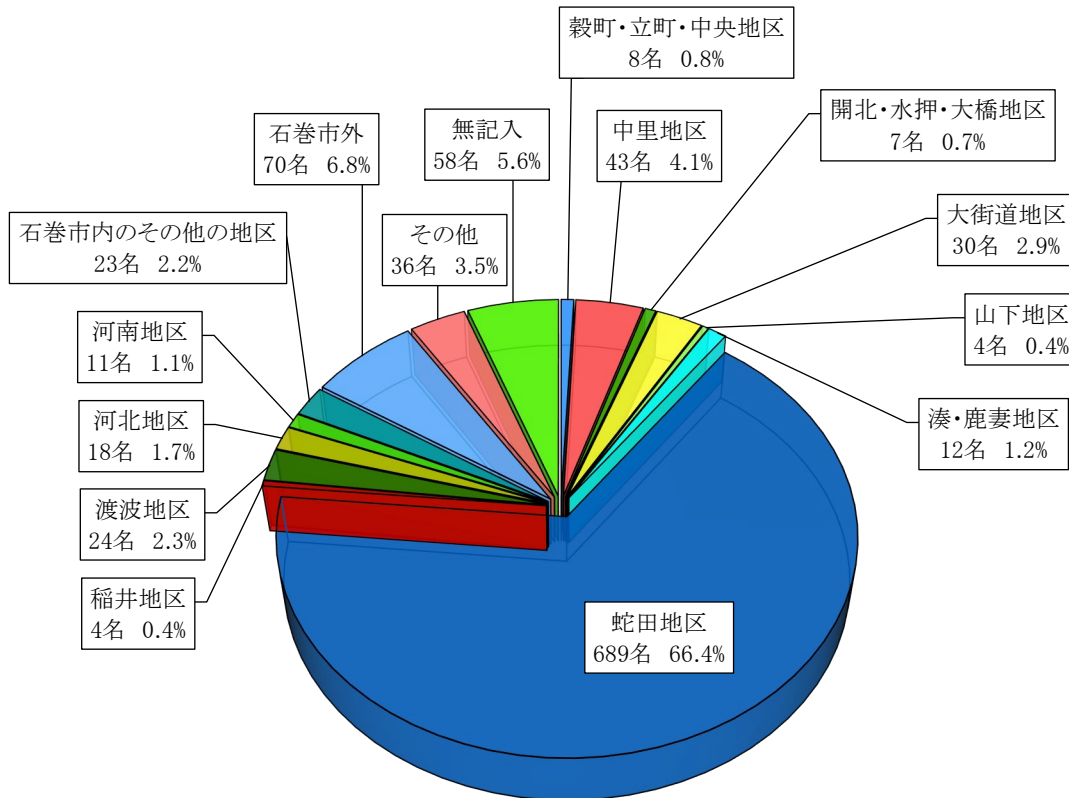


② 日常の買い物をする場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。

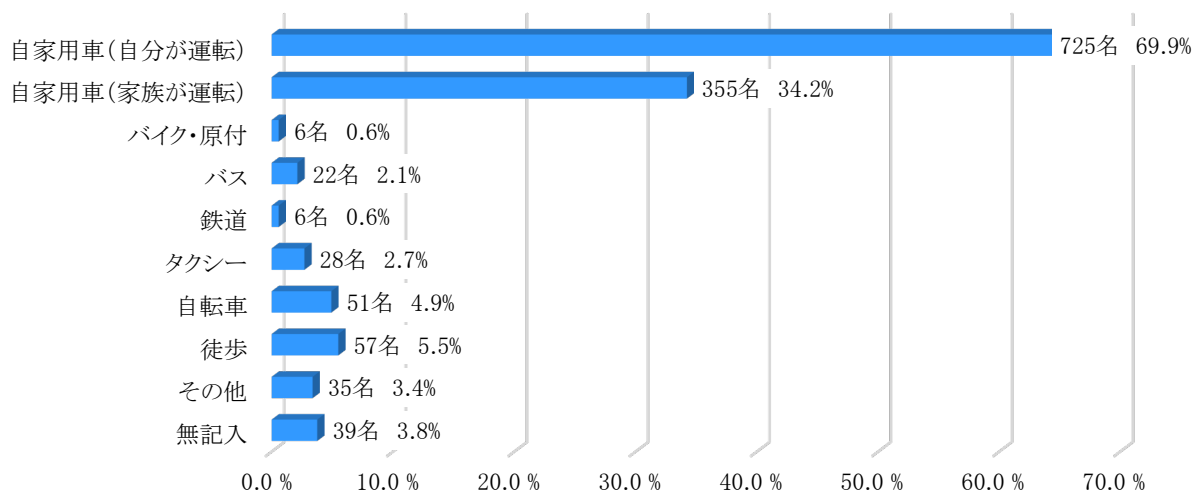


問 71 買回り品（※）を買うための買い物（専門店・デパートなど）について
 ※買回り品：洋服・靴や家電製品、趣味に関する商品など

① 最もよく行く買回り品の買い物をする場所・地区はどこですか。1つ選んでください。

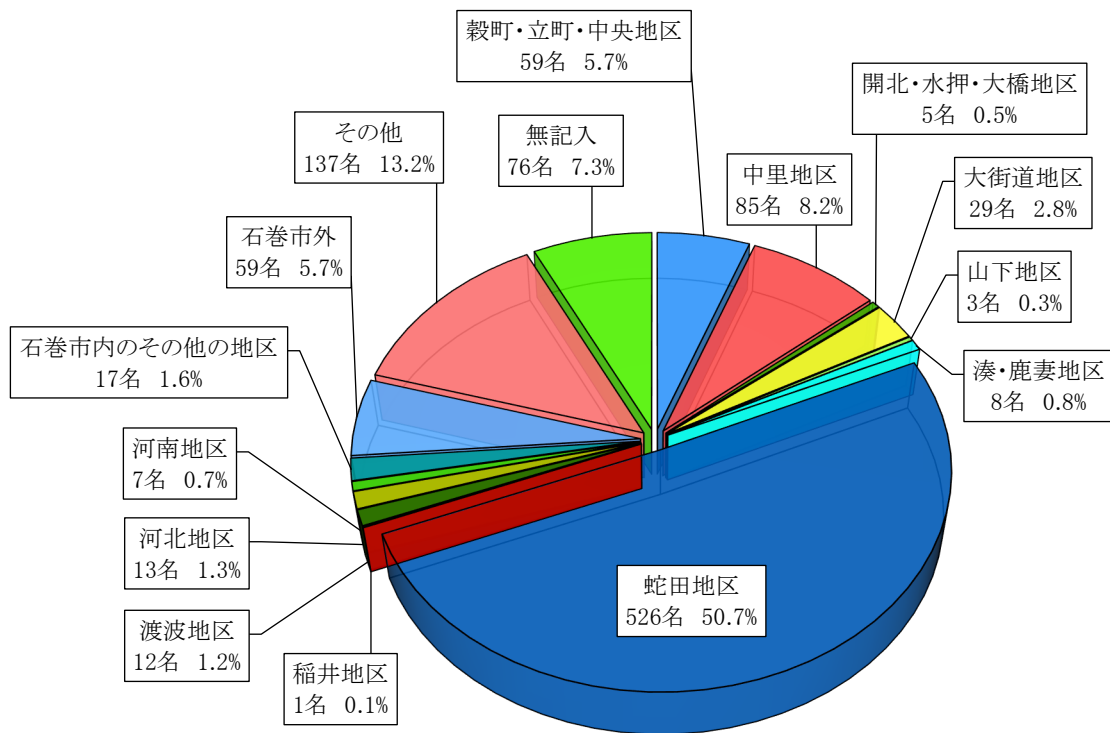


② 買回り品の買い物をする場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。

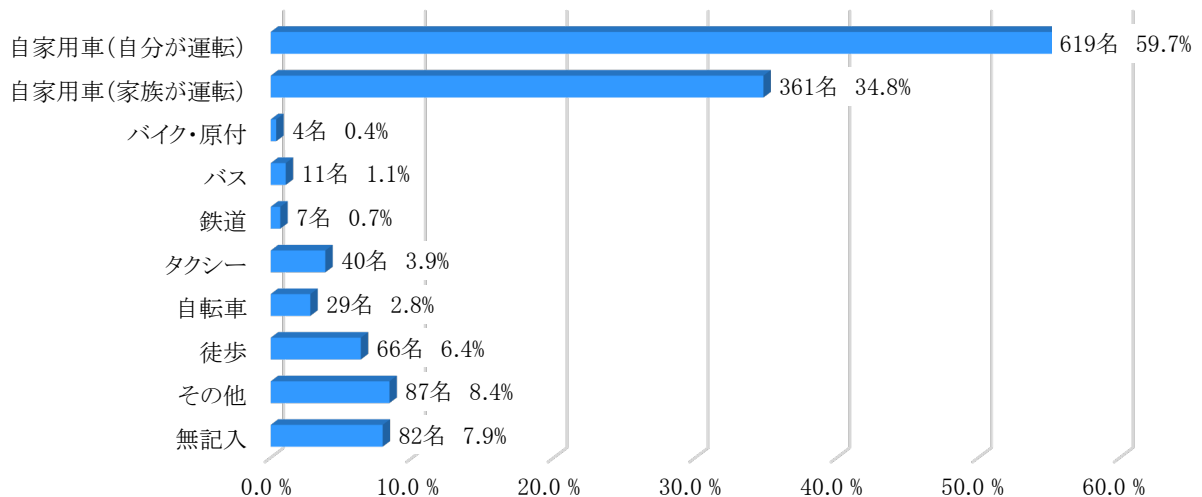


問 72 飲食店（レストラン、食堂、カフェなど）について

① 最もよく行く飲食をする場所・地区はどこですか。1つ選んでください。

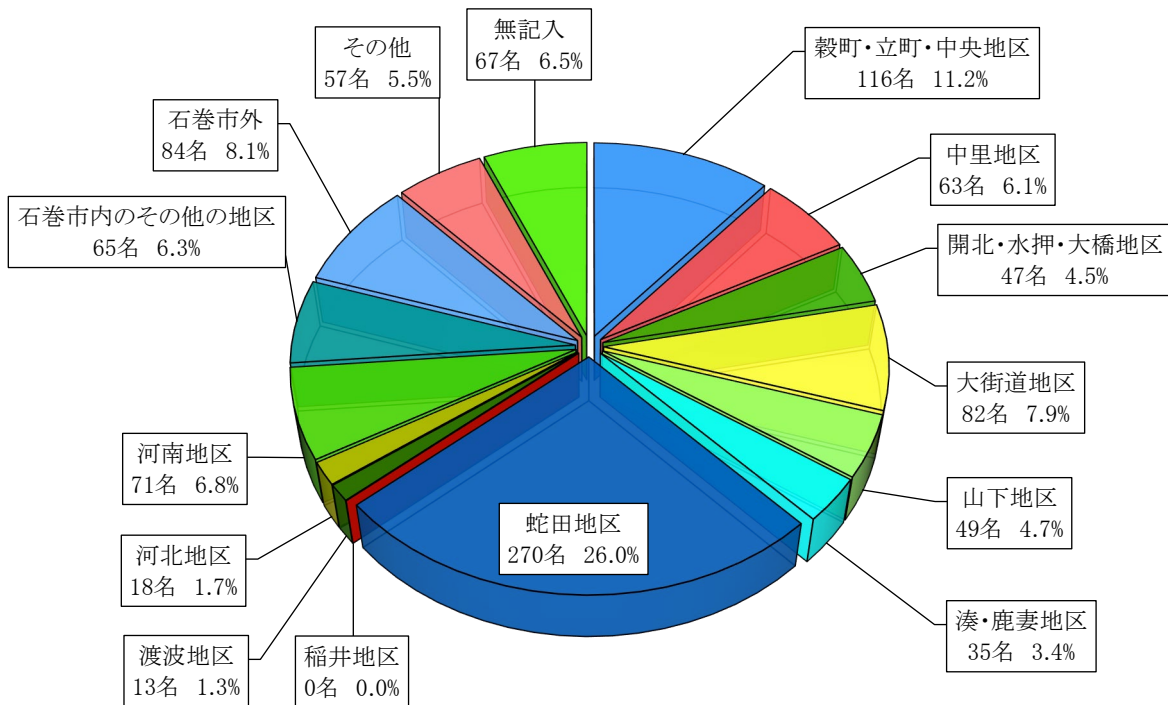


② 飲食をする場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。

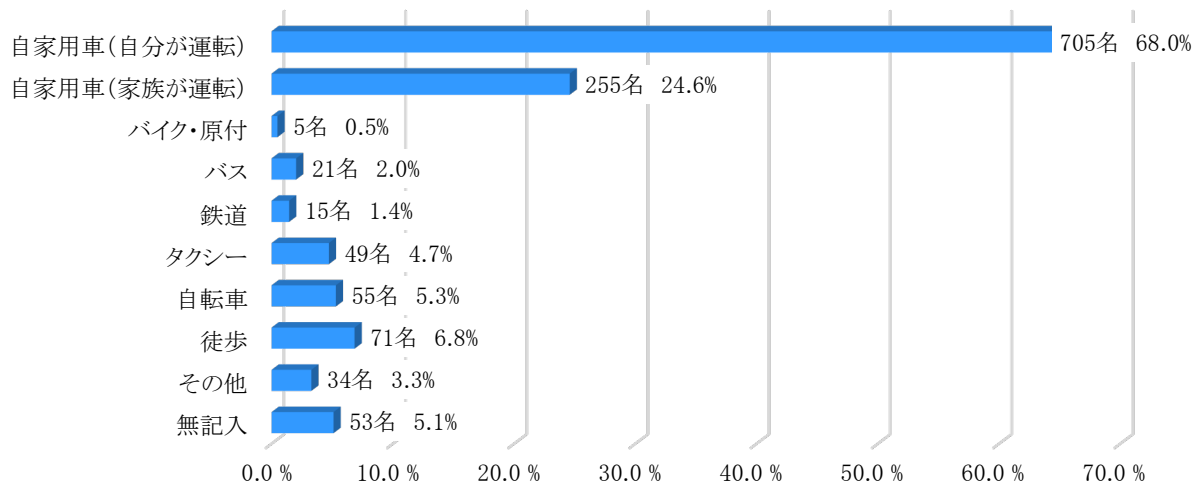


問 73 通院（医院、診療所など）について

① 最もよく行く通院をする場所・地区はどこですか。1つ選んでください。

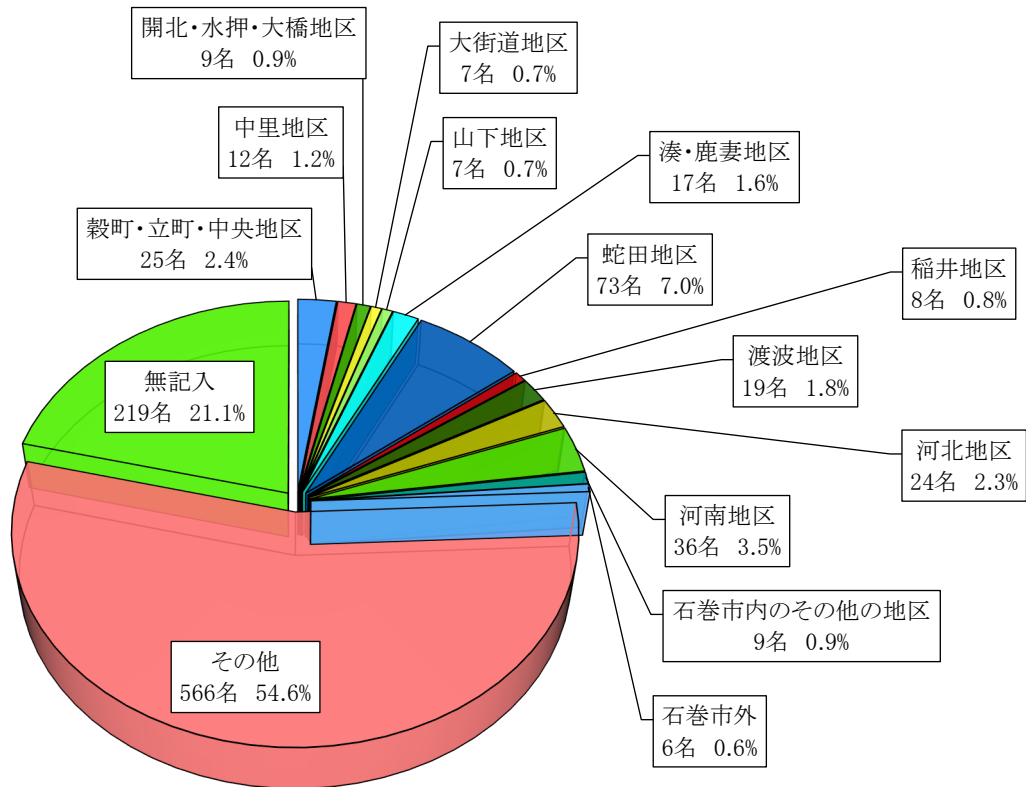


② 通院をする場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。

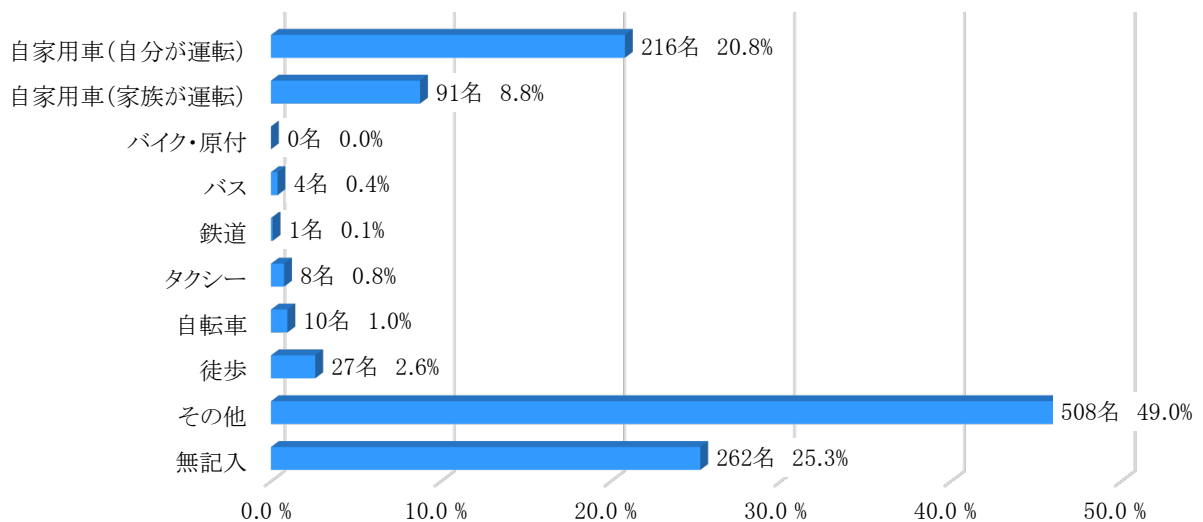


問 74 子育て関連施設（幼稚園・保育園など）について

① 最もよく行く子育て関連施設の場所・地区はどこですか。1つ選んでください。

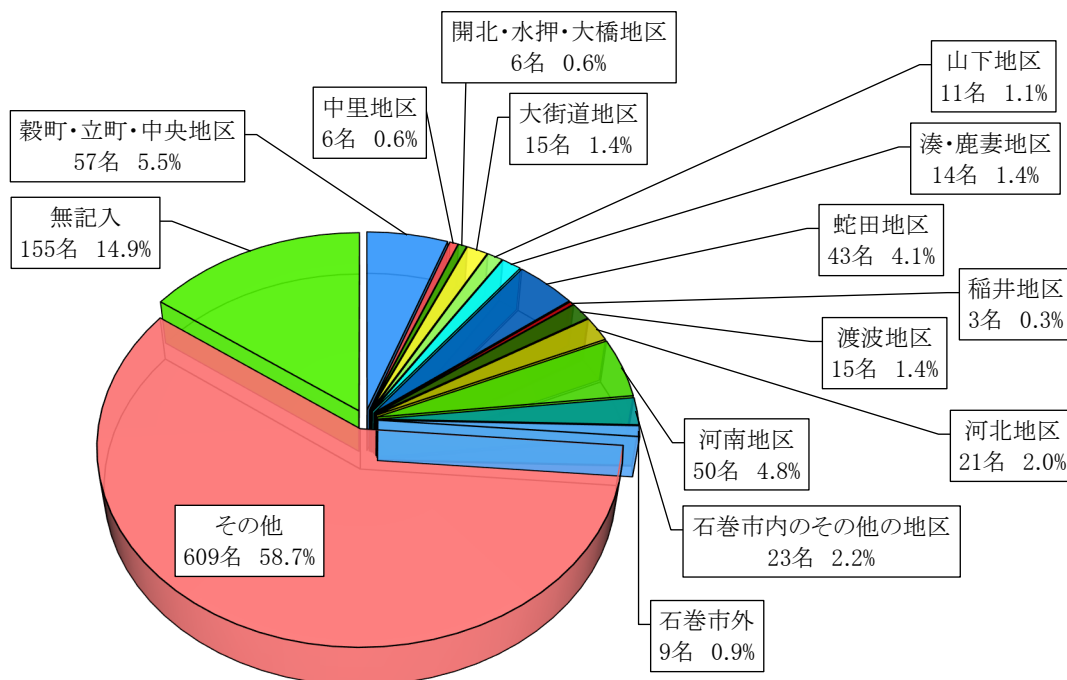


② 子育て関連施設の場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。

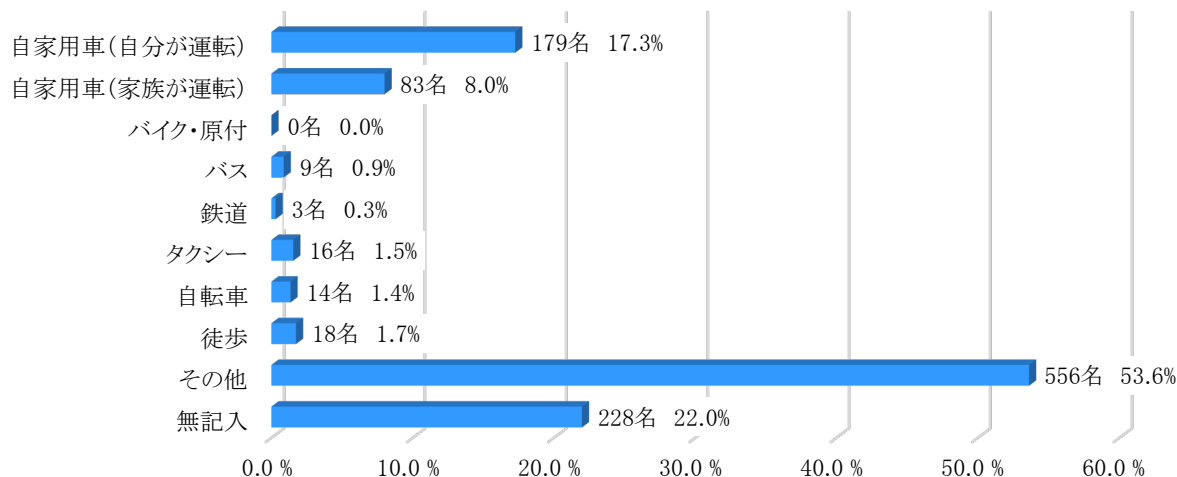


問 75 保健センター・福祉施設（デイケアセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設など）について

① 最もよく行く保健センター・福祉施設の場所・地区はどこですか。1つ選んでください。



② 保健センター・福祉施設の場所・地区に行く際に、よく利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。



日常の買い物、買回り品の買い物、飲食、通院、子育て関連施設のよく行く場所・地区として、「蛇田地区」が最も多くなりました。保健センター・福祉施設については、「穀町・立町・中央地区」が最も多くなりました。特に、買回り品の買い物及び飲食をする場所・地区については、「蛇田地区」が50%を超えており非常に多くなりました。その一方で、日常の買い物及び通院をする場所・地区については、比較的各地区に分散している様子がうかがえます。

なお、子育て関連施設及び保健センターについては、利用する対象が限られるため「その他」（利用しない）が最も多くなりました。

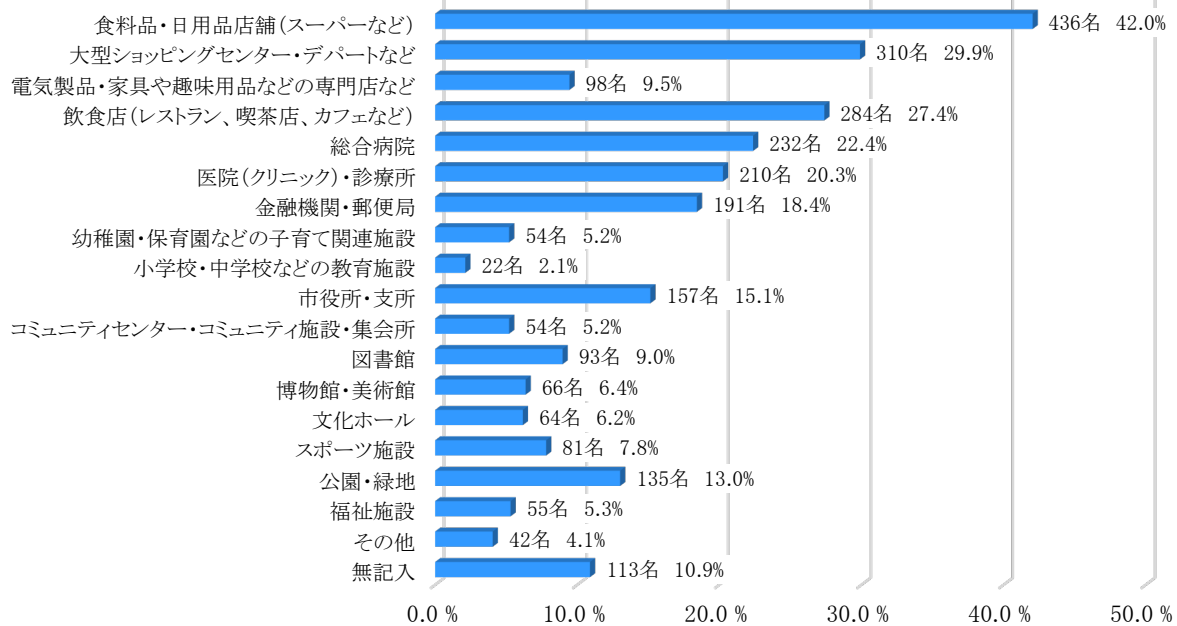
また、日常の買い物、買回り品の買い物、飲食、通院、子育て関連施設、保健センター・福祉施設のいずれの場所・地区へ行くためによく利用する交通手段は「自家用車（自分が運転）」が最も割合が高く、「バス」や「鉄道」などの公共交通を利用する方の割合が低くなりました。

このことから、目的に応じて行く場所・地区には違いがありますが、交通手段としては「自家用車」がほとんどの場合において選択されることがうかがえます。

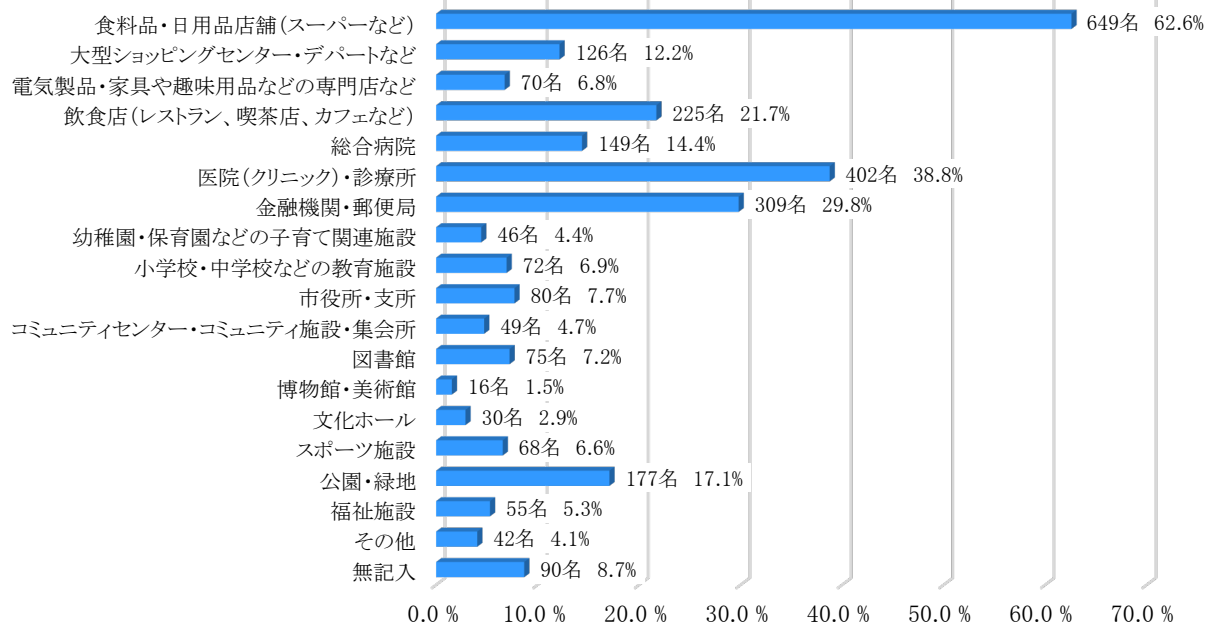
○将来のまちづくりに関する質問です。

あなたが生活する上で必要だと考える施設についてお答えください。

問 76 駅周辺などの拠点となる場所の徒歩圏内に、特に必要だと思う施設について、よく当てはまるものを3つ選んでください。



問 77 日常の生活において、自宅の徒歩圏内に、特に必要だと思う施設について、よく当てはまるものを3つ選んでください。



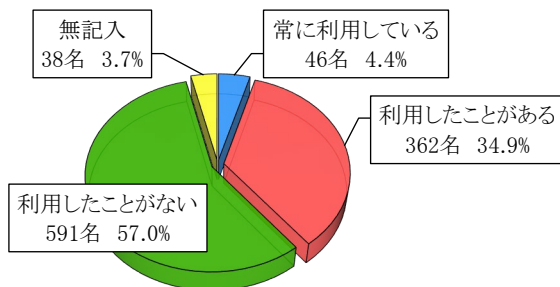
駅周辺などの拠点となる場所の徒歩圏内に求められる施設として、「食料品・日用品店舗(スーパーなど)」が42.0%と最も高く、次いで「大型ショッピングセンター・デパートなど」が29.9%、「飲食店(レストラン、喫茶店、カフェなど)」が27.4%となりました。

また、日常の生活において自宅の徒歩圏内に求められる施設として、「食料品・日用品店舗(スーパーなど)」が62.6%と最も高く、次いで「医院(クリニック)・診療所」が38.8%、「金融機関・郵便局」が29.8%となりました。

拠点となる場所に求められる施設と自宅周辺に求められる施設が異なることから、今後のまちづくりを進めていくにあたり、拠点となる場所として、住み続ける場所として、それぞれの魅力や利便性の向上を図る施設の立地や維持について検討する必要があります。

15 図書館の開館時間について

問 78 図書館を利用したことがありますか。1つ選んでください。

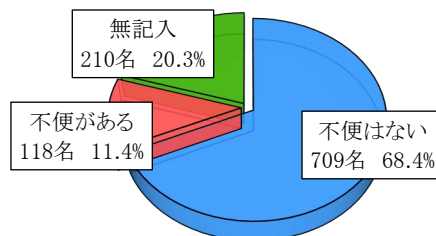


図書館を利用したことがないが57.0%と、過半数を占めています。市民にとって図書館がより身近な施設となるよう取り組みを進める必要があります。

問 79 現在の図書館（分館を除く）の開館時間は下記のとおりですが、この時間で利用に不便はありますか。1つ選んでください。

【現在の開館時間】

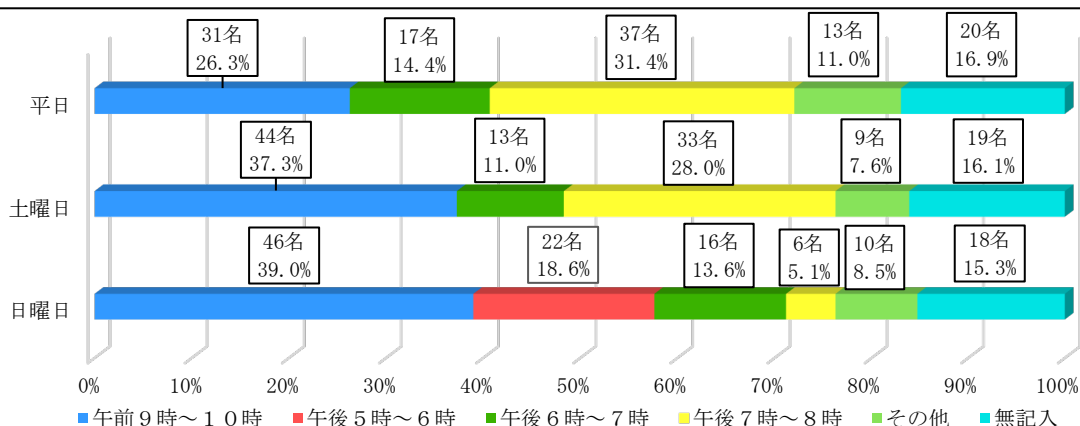
曜日	開館時間
火・木・金・土曜日	午前10時～午後6時
水曜日	午前10時～午後7時
日曜日	午前10時～午後5時



現在の開館時間に「不便はない」が68.4%と、「不便がある」の11.4%を大きく上回っており、現在の開館時間について一定の満足度が示されていることがうかがえます。

問 80 問 79 で「2. 不便がある」と回答した方にお聞きします。

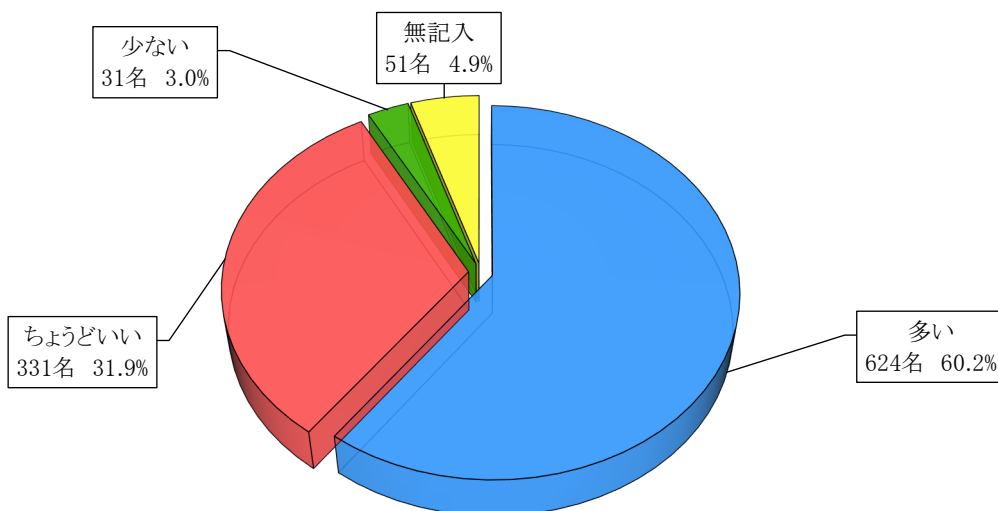
現在の開館時間以外でどのような時間帯に利用できると便利ですか。平日、土曜日、日曜日それぞれ1つ選んでください。



図書館の利用に不便があると回答した人のうち、利用できると便利な時間帯として、平日は「午後7時～8時」が31.4%と最も多く、仕事帰りにでも寄ることができる時間帯を希望していることがうかがえます。土曜日、日曜日では「午前9時～10時」が37.3%、39.0%と最も多く、休日の早い時間帯に利用希望があることがうかがえます。約7割の方が現在の開館時間に不便はないと回答した一方、不便があるとの回答もあり、図書館をより多くの人に利用していただくため、現在の開館時間について妥当性を検討する必要があります。

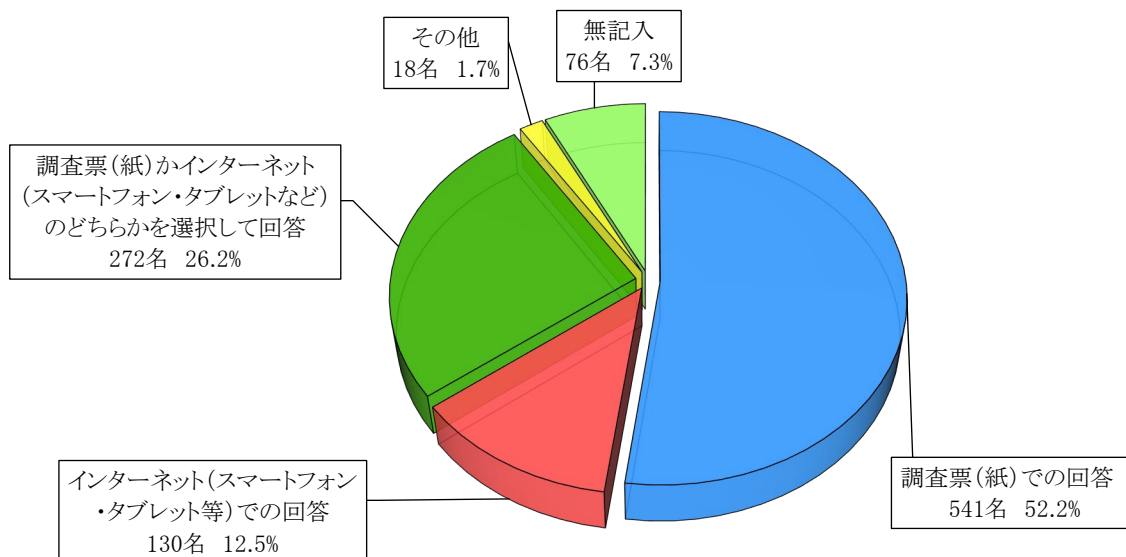
★ 本調査の印象について

問 調査表の質問数（80問）について、どう思いましたか。1つ選んでください。



「多い」と回答した方の割合が6割を超える結果となったことから、次回に向け、設問数の見直しを図り、回答いただく皆様の負担を少しでも軽減するよう努めてまいります。

問 調査に回答する際は、どの手法が望ましいですか。1つ選んでください。



「調査票（紙）での回答」を希望する方が5割を超える結果となりました。年齢別に分析したところ、回答率の少ない10代～50代では、「インターネットを活用しての回答」を望む声も多くあったため、インターネットを活用しての回答も検討してまいります。